京城日報

十二日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵送に限り前金 廣告料 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 合資會社京城日報社 京城太平通一丁目

○外交重要問題協議
注目すべき十二日の閣議

十一日午後平田子は西園寺侯を駿河臺の邸に往訪し鳩首凝議する所あり一方本野外相は午前十時山縣公を目黑に訪問し外交上の一大重要事項に就き協議せり十二日の定例閣議は午前九時より開會、寺內首相以下閣員全部出席したるが其の內容は外相の山公訪問の結果によりて更に外交上の重大案件を附議したるものなりと傳へらる（東京電報）

○米國へ特使派遣か

帝國政府は對支問題に關し我佐藤駐米大使をして米國と交涉せしめつゝあるが其れとは全然關係無く今日獨逸に對し共同作戰を爲しつゝあるに就きて其主旨を徹底せしむる爲め近く米國に特派大使を差遣するの議あり其一行には陸海軍側より有力なる代表者を選び差遣す可しと（東京特電）

支那の形勢

▲伍總理代理辭職

臨時總理伍廷芳氏は辭職せり（北京特電）

▲伍廷芳氏辭職理由

伍廷芳氏は代理總理及び外交總長を辭職したるが其理由は議會解散に反對の爲めなり（北京特電）

▲海軍は黎總統擁護

海軍總長程璧光氏は薩鎭冰氏と共に若し不幸南北開戰するに至らば全海軍は協力一致黎總統を擁護すべしと首唱せり（北京電報）

○山梨中將動靜

北鮮駐屯軍の教育狀況視察の爲め來鮮中なりし陸軍教育總監本部長陸軍中將山梨半造氏は十一日御用船宮島丸より釜山上陸東萊溫泉に赴き同日午後五時三十分釜山に引返し午後六時出港宮島丸にて歸東の途に就けり（釜山特電）

○三博士通過

法學博士乾政彥、醫學博士今村新吾、工學博士男爵斯波忠三郎の三氏は十二日朝出帆高麗丸にて內地へ向へり（釜山特電）

○川崎技師通過

總督府鑛務課技師川崎繁太郎氏は十一日夜出港關釜連絡船さくら丸にて東上せり（釜山特電）

◉蒙軍の獨立祭

海拉爾を占領したる蒙軍は去る五日同地に於て獨立祭を擧行したり儀式の順序は先づ三大臣の獨立に對する趣旨の宣明其他各員の祝辭等に始まり終つて一同祝盃を擧げ以てその前途を祝福する等頗る壯嚴を極め市民の熱狂湧くが如かりしと尙蒙軍は同日露國領事館に對し其理由を通告したる由なるが各國領事館への正式通牒は目下準備中なりと云ふ（哈爾賓）

◉蒙軍の現勢力

蒙軍海拉爾占領當時の兵員は僅々二百名に過ぎざりしが該兵員は悉く敎練大臣の配下にて軍政大臣は其際特に策戰上應援の爲め加入し居たるに過ぎず

▲白將軍麾下の現兵員は約八千名と稱せらるる程にて其中一千名は昨今內政大臣に引率せられて海拉爾の東北約一百淸里の地點チンジヤン廟附近に駐屯し徐々海拉爾方面に近接しつゝあるが如し右兵員は一般に態度活潑規律整然たるものにて操縱の洪又宜しきを得其質大に見る可きものあり當初憂へられたる如き掠奪暴行等の行爲絕對者無なるは

▲稱揚に價す 而して目下蒙軍側には砲四門機關銃六門を有し其他小銃彈藥等も殆ど充實の狀態なるが小銃は重に支那銃露國銃にして其外日本の卅年式の分も含むとの事なるが支那銃の大部は鄭家屯事件當時林西河畔の戰鬪にて官兵一千九百名を鹵獲したるものと稱す尙又蒙軍海拉爾入城の當時投降したる[illegible]部下の巡兵四十名は特に

▲勤王軍と大書せる赤色布の徽章を附し昨今二十名宛二隊に分れて相互交代に市中警邏の任に服しつゝあるが比較的忠實勤勉なりと云ふ市民の蒙軍謳歌に努むる事は依然たるものにて各戶に

▲黃龍旗を揭揚して歡迎の意を表しつゝありと云ふが一面呼倫貝爾州全民の意嚮も又齊しく蒙軍激美の誠意熾烈なるものあり現下の局面若し轉回して黑龍江省獨立の機運到達せば蒙軍の前途は實に洋々たるものにて誰れ憚る所もなく彌が上にも鞏固不動たる可しと觀測せられつゝあり（哈爾賓）

◉慈雨愈々臻る
黃海に低氣壓起る

十二日午前九時觀測所より總督府に達せる電報に曰く、十一日は西鮮地方及び東海岸地方に於て降雨あり即ち龍岩浦八粍、平壤六粍、元山並に江陵各一粍以下ありしが何れも地方的現象に止まり農作物には好影響を齎らさざりしもの、如し、然に十二日朝に於ては龍岩浦より木浦地方に亙る西海岸、元山より江陵方面に亙る東海岸一帶に微雨を見、また新に黃海に低氣壓起り朝鮮半島を橫斷して日本海方面への進路を採りつゝあり爲めに十二日午後より全鮮に亙りて相當の降雨ある可し、但し滿洲方面にも同樣の低氣壓現はれ居るを以て黃海に於ける低氣壓は之れが爲めに牽制せられ其の進行鈍く從つて降雨は多少遲れざるやの懸念あり

◉定例長官會議

十二日は定例長官會議日なるより山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

◉辭令

十一日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府試補　田尻生五
任朝鮮總督府道事務官敍高等官七等九級俸下賜　咸鏡北道任勤を命ず

◉司獄會計會同（第一日）

裁判所監獄會計主任會同第一日は十二日午前九時より總督府第二會議室に開催、總督府側よりは荻田總務局長以下關係各課長等出席直ちに日程に入り午前は諮問事項午後は質議及び事務打合せあつて四時散會したり尙ほ十三日以降の日程左の如し

十三日　午前諮問事項　午後質議及事務打合
十四日　同　同
十五日　午前注意事項　午後注意事項
十六日　總務局長訓示

◉副官會議第一日

副官警視會議第一日は十二日午前八時三十分憲兵隊司令部樓上に於て古海總長統裁の下に開催す古海總長は訓示の後總督府に於ける長官會議に出席したれば前田大佐總長代理統裁し出席者の意見質疑等あり正午休憩し午後一時より再開午前と同じく意見質議に移り同四時散會せり

◉憲兵隊主計會議

憲兵隊司令部にては全鮮憲兵隊主計を召集して來る十八日より三日間主計會議を開く可し右會議終了を待ちて二十一日より龍山軍司令部に於て軍所屬並に憲兵隊所屬主計會議を四日間開催す可し

◉學校會計會同

總督府にては鮮內官立各學校會計主任を召集し十八日より第二會議室に於て官立學校會計主任會同を開催の事となれり

◉淸會線全通期
鐵道當局の談（如何）

會寧鐵道若坪會寧間の開業乃ち全線の全通期は八幡製鐵所に鐵道局より註文しあるレールの出來期時局に基づく多忙のため契約期限迄に遲延困難ならんとの說あり旁々淸會間全線の開業は

▲明夏に及ぶならんと云ふが其實否如何に付鐵道當局の談を聞くに今日に於ては未だ何等確的の明言をなし得ず實は右に關する交涉の要件を帶び數日前大內副參事福岡縣並に大阪に出張を命せられ既に出發したるが同氏歸任せば大體の見當は立つべし尤も製鐵所に於けるレールは略期限內に製作の見込み立ちたる旨の通知あり又大阪橫田鐵工所に注文し居れるプレート、カーダー（板鐵大梁）も遠からず組立て終るべしと云ふも借て現品は出來したりとて之れを輸送する船腹をいかにして得るかは之れ亦海運界繁忙の際一問題にて現にプレート、カーダーの如き

▲延長六十尺に及び到底小型船には之れを積載し得ざる關係あり勿論前途の見込み立たざる譯なるが何れにせよ當局としては蒼坪古茂山間のみの開通にても急ぎ兎に角本年の結氷前に茂山嶺の征服を行ひたき希望に付年內に全線の開通を見ずとも古茂山迄は營業開始をなし得べきか云々

◉鈴木長官東上

度支部長官鈴木穆氏は豫算に關する打合せ並に議會臨席等の爲め十一日附を以て東京に出張を命ぜられたり、氏は十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて烏山屬を隨へ東上の筈なり

◉成田砲兵監歸東

九日羅南方面より入京十日十一日龍山駐屯野砲兵中隊の檢閱中なりし敎育總監部野砲兵監成田少將林大尉の兩氏は十二日午前八時三十分南大門驛發列車にて歸東せりと

□光州より

十一日午前六時　三笑生

○十日早起、寢巻の儘、光州市街の一部即ち內地人の多數居住せる部分を、一巡致候。市區改正、整然と行はれ、隅々迄掃除行屆き、町並木は多くポプラ、アカシヤの類に候へど、相當に市街美を添へ、時方に新綠茂りて、只だ何となく氣持能く、淸潔な所かな所だと首肯かれ候。一言贊辭を呈すれば、公園の如き市街だと申上度候。蓋し是れ鈴木光州署長が、赴任以來、銳意勵行せる衞生警察の效果也と聞知致候。小生は在留民諸君が、能く官憲の意志を諒得して、之に應酬せる結果に依ることも多大なりと推察致候。但し所謂公園的にて、商賈繁昌、活氣橫溢の氣分は失敬ながら、聊か乏しき樣に感じられ候。

○十日は、午後一時より光州城外龜ケ岡公園にて毎日申報全南支局の新築落成式を擧行致候。來賓、見物人內鮮人並せて千四五百名、殊に中流家庭の鮮婦人連の參觀者頗る多く近來稀有の盛況を呈し候。只だ宮木道長官が、昨日地方巡視より歸來匆々、殊に地方より無據來客の爲め、國澤警務部長は、恰かも木浦に於ける在鄕軍人分會に臨席の爲め共に來會なかりしは來會者一同の不斷遺憾としたる所に候。

○さり乍ら、長官代理として元參與官、警務部長代理として李參尉の來會あり、元參與官、金光州郡守、鈴木光州署長、金光州農工銀行長、麻生京日支局長、加藤朝鮮新聞支局長などの、熱烈なる贊成演說は、非常なる感動を與へ、殊に餘興として、全州光州の妓生十餘名、朝鮮第一の聲樂家宋萬甲の出演は來會者一同の尤も滿足したる所に有之、充分の成功を收め申候。

○龜が岡公園は、松汀里より光州に入らんとする光州橋の手前右手の小高き丘岡に御座候。殆かも龜が川に逃げ込まんとする形あるより來れる名稱にして、此龜は古來光州の鎭守として、在留民の信仰淺からず之を取り逃がされぬ樣にとて、サテワ之を公園となし、其背部には光州神社を、其頭部には、殉難忠魂碑を建て、又龜は米の磨ぎ汁を嫌ふとありて、其鼻先の河原には、米市場を設くるなど、龜の引留策に苦心致居候然るに光州神社には、未だ神靈の奉祭なく、守護の神官もなく、無智鮮人の惡戯なるべし、神殿の金具類を半ば剝ぎ取られ、修繕を要すること、相成り居り候。一日も早く光州の鎭守として、神靈の奉祭を希望致候。

○龜が岡の忠魂碑は、在光州有志の發起にて、全部石材にて美事に建立せられたり、幾多忠死の英魂は、此の記念碑と共に、千歲に亙りて、我光州を守護致候事と存候。忠魂碑と並んで、苔むせる一基の五重塔あり高サ二丈餘り、其塔の價値年代等は專門家にあらざる小生等の云爲すべきことにあらざれども、此塔は龜が岡の風致に重要缺ぐべからざるものと存候。然るに今や土臺は動き、隨所は毀たれ、隙又た間を生じ、葬ろ自然の廢毀に委棄するの觀あり、誠に惜しきものに候。一日も早く、相當の保護と修繕を加へ、永く之を龜が岡に保存する樣、當局者の御一考を煩はしたし。先は匆々不一

◉兩博士南行

歐洲より歸途入京中なりし斯波工學博士今村醫學博士は十二日午前八時卅分發列車にて歸東せり

◉本田場長歸水

元山方面視察中なりし本田勸業模範場長は十一日夜南大門驛發列車にて水原に歸任せり

◉マ主筆の來鮮

米國マックルーア誌主筆エス、エス、マックルーア氏は東洋經濟事情視察のため秘書ワイルド氏を隨へ不日內地より來鮮の由なるが氏は朝鮮を視察の上滿洲方面へ赴くべしと

◉愁眉近く開けむ
朝鮮の土地柄と農作上の大問題
總督府技師　中村彥氏談

▲降雨の順當 朝鮮は併合以來不思議にも雨量の分配宜しきを得て其の主要物產たる稻作の如き逐年豐作を告げつゝあり從つて曾ては急施の要を叫び水利灌漑事業も漸次其聲を潛めなさんとするの傾向すら現はるゝに至り識者の遺憾措かざるものありき

▲俄然一變調 然るに本年は雨量の分布宜しきを得ず新政施行以來未曾有の旱天とて各地を通じ水稻は勿論百般の畑作物亦著しく今後の生育如何を懸念せられ晴天久しきに亙らば遂に一大凶作を免れざる可き實況に瀕せり、玆に於て當局は此の點に就き深甚の注意を拂ひ全土を擧げて救濟に遺憾なからしむ可く有ゆる手段方法を講じつゝある折柄十二日朝觀測所より電話あり

▲膏雨近し矣 即ち黃海方面の低氣壓は朝鮮半島を橫斷せんとしつゝあれば近く全鮮に亙りて相當の降雨を見る可き旨を報り、旬日來の天候に依つて之を案ずるに膏雨を見るは最早や疑の餘地なき處にして一般の愁眉を開くは必ず遲き日時にあらざる可し、されど兎角人は咽喉元過ぐれば暑さを忘るゝが常にて順境に向へば逆境時を忘却するも

▲水利の方途 前記水利事業の如きは今後益々力を盡して是非とも其の完成を期すること肝要なり、元來朝鮮の如く空氣乾燥せる土地柄に在りては畓は素より畑作に對しても亦灌漑の要極めて大なるが故に水利的施設は農產の增殖と共に須臾も當業者の念頭を離る可からざる重大問題なり

○米國派の暗中大飛躍
伍廷芳副署拒絕の裏面―伍朝樞郭在淇の計劃

米國は昨今躍起となりて時局の紛糾に力め十日伍廷芳氏が國會解散に關する總統令に副署を拒めるも其の指金なるは勿論其後伍朝樞と郭在淇の二人は米國の走狗となりて米國と密議し成る可く時局の解決を遷延せしめドサクサ紛れの內に米國の力を借り黎總統を南方に連れ出す計畫を爲し居れり之れが爲め郭在淇と哈漢章とは九日總統の面前にて意見の相異より擲り合ひを演じたる程なり又張勳は國會改選の如きは姑息なりとし依然解散を主張し居る由（北京特電）

◉一宮代議士通過

奉天盛京時報社長代議士一宮房次郎氏は特別議會出席のため十二日朝京城通過東京へ向へり

◉小松氏入京

滿洲地方視察中なりし前總督府中樞院書記官長兼外事課長小松綠氏は十一日夜南大門驛著入京天眞樓に投せり氏は尙ほ兩三日間滯京の筈なり

◉佐伯課長來鮮

山東鐵道調查課長佐伯彪氏は不日來鮮の由

◉軍司令官檢閱

秋山軍司令官一行は十一日午後零時二十五分著列車にて大田に來り富塚聯隊長以下の出迎を受け小憩の上大田步兵第七十九聯隊に到り午後二時より第二期檢閱を擧行せり（大田）

◉鳳城縣防穀令

近時穀類の價格暴騰に伴ひ鳳城縣龍王廟にては穀類の密買輸出激增して民家貯藏の根穀拂底し且つ今春來降雨少き爲め作物の不況を豫想し民食缺乏の虞あるに依り支那官憲にては來る七月六日より新穀出廻まで米、大麥、小麥粉、高粱、包米、粟、黍等に對し防穀令を施行する旨今回安東領事館へ通牒ありたり（安東縣）

◉山田中佐東上

砲兵中佐山田與吉氏は十一日午前五時四十分龍山より來釜同日午後六時出港宮島丸にて東上せり（釜山）

◉志賀局長上京期

廿六日より總督府に於て開會の郵便局長會議に出席すべき釜山郵便局長志賀良三郎氏は十四日出發京城に赴くべしと（釜山）

◉仁川

▲米檢規則と當業者 京畿道小松事務官は十三日來仁米穀檢查に對する當業者の意見を聽取すべしと

▲役員會延期 仁川商議役員會は十二日の筈なりしも同日午後一時より學校組合會召集の爲延期し十四日午後一時開催する事となれり

▲學校組合會 仁川學校組合にては十二日午後一時より組合會召集寄附金品採納に關する件、大正六年度歲入出追加豫算及び仁川學校組合規約中組合に書記十一名を置き內二名を有給とし其他を名譽職となす改正の件、寄附金員の受領並に組合費及び使用料の減免の先決處分を管理者に一任する件、授業料及び保育料徵收規程改正の件等を附議す

◉木浦

▲在鄕軍人分會 木浦在鄕軍人分會にては十日正午より公會堂に於て總會を開き事務報告、役員の改選、基金に關する報告あり全南支部長たる國澤警務部長は特に臨席一場の訓話あり午後二時より公會堂南側空地に於て分會員の銃槍擊劍相撲あり午後六時より開宴し主客百二十餘名餘興として琵琶劍舞等あり盛會を究めたり

▲警察署長歸署 暫らく內地へ歸郷中なりし木浦警察署長林警視は十日午後四時著の汽車にて歸署されたり

▲普通學校運動會 木浦普通學校にては簡易商業學校と合同十日校庭に於て運動會を開きしが父兄母姉の來觀あり盛なりし

▲觀世謠曲會 當地大和町に於て謠曲教授をなしつゝある星氏は十日正午より松島神社に於て觀世流謠曲會を催せしが出演者十數名にて合唱の仕舞等は觀者をして感興を深からしめたり

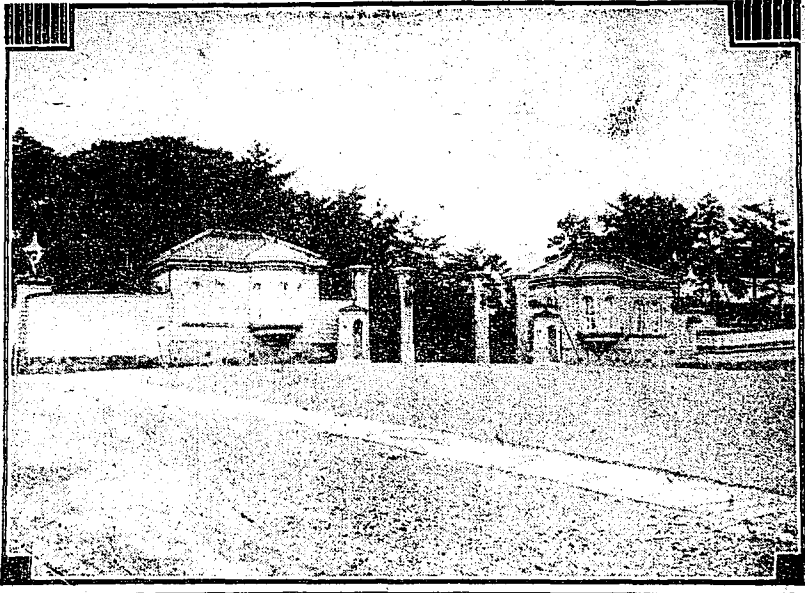
人事消息

▲野口次郎三氏（畜產技師） 黃海道管內に於ける牧羊場出願地及畜產狀況視察の爲め黃海道管內に出張中の處十一日歸任
▲朱乘殷子爵 十二日午前水原へ
▲篠田治策氏（辯護士） 十一日夜入京不知火へ
▲秋吉英三氏（漢湖農工銀行支店支配人） 十一日夜入京山本旅館へ
▲廣田直三郎氏（釜山中學校長） 佐伯旅館滯在中
▲伊藤好枝氏（農商務省技師） 十一日夜入京巴城館へ
▲岡部滋七氏（臺灣總督府事務官） 十二日朝水原へ
▲細正弘氏（都新聞記者） 同朝鮮ホテルへ同夜京城着の筈
▲川上幸氏（大阪朝日新聞記者） 十二日朝入京不知火旅館へ
▲岡部彰氏（同上） 同上
▲米澤尙三氏（牧師） 同日退京
▲川村恒夫氏（川村皮膚科醫院長） 十二日仁川へ
▲山本信氏（遞信局海事課釜山出張所長） 十二日釜山へ着任
▲須田勝雄氏（遞信局海事課技師） 十三日午後十一時釜山行列車にて赴任

回落選所感

一　雅

川狩や大きな鰻取りにかし
鷺や老ひては人も氣にとめす
散るや牡丹我も是より若隱居



霞關離宮□□□□李王殿下御旅館(寫眞參照)

◆御旅情を慰める色々の設備整ふ◆

李王殿下にはいよ〳〵十二日午後五時東京に入られたが御在京中の旅館なる霞ケ關離宮は宮内省より内匠寮の諸員出張して準備に忙はしく此程壁の塗替窓掛、絨氈新調から庭園の手入など滯りなく終つたが御著京後殿下の御居室に充てさせられるのは表門から近い西洋館の階上三間程で何れも廿疊敷の廣間で其北端なるは御寢室中央は御居間南端は應接室である何れも床上には紅の毛氈を敷き詰められ鶸色の窓掛が垂れてある應接室は御庭園に突き出した樣に建てられ展望に富み直目の下には三十坪ばかりの大泉水があつて緋鯉、眞鯉や金魚などが游いで居る泉水の邊りは築山風の廣い庭園で芝生は青疊の如く苔蒸せる奇岩の間には皐月が燃ゆる樣に咲いて居り御室の中壁間には各大家の描いた山水や花鳥の軸が懸けられてある尚御滯京の節には殿下が盆栽及び花卉に深き趣味を有たせられ京城に在しても愛翫あらせらるゝのであるから宮内省の係員は此點に深く注意し宮中の内苑や新宿御苑で仕立てたものを各種陳列して殿下の旅情を慰め奉る筈である(東京)

●御健やかに　李王殿下

◆内地官民の熱誠なる歡迎に對し一々答禮に力められつゝ

今回李王殿下が天皇皇后兩陛下に御對顏の上積る御禮言上の爲め御東上の報に接するや上は畏けれど皇室より下一般國民に至る迄

■御決斷と御健康の

程に敬服せぬ者は無かつた。夫は内地では倂合の當時既に此事あるを豫期し其後　今上御大典の折も祝典に御參列相成る可を豫想し又當時李王家に於ても其内議あらせられたにも傳られたが李王殿下の御健康と側近の事情とに制せられて沙汰止となつた如うに内地では承つて居つたに過般成典に宗廟の御展墓を遊ばされて其健康も東上旅行に

■差支へ無き確信を

得させられたのと一面には陸軍士官學校御在學中の王世子殿下が御成業の上明春は我が皇族の御一方と御結婚の誓約を見るに至り朝鮮でも亦李埈公家の御相續等内外の御慶事の重なつた折柄最早側近の御事情も之を許す樣になつて此事あるに至つたものと了解したからである。それであるから李王殿下の御東上に對する御歡待に就ては皇室を始め一般國民も

■細心の用意と誠意

を披瀝して及ばざるを恐るゝと云つた樣な譯で恐く從來内外の賓客を待遇する誠意に厚薄は無いけれども今回李王殿下に對するが如きは實はれぬ事實である李王殿下には御健康御恢復とは申しながら豫てリユーマチスの宿痾あらせらるゝ事も拜承するに内地は目下雨期に當つて居るので或は御障りも無か又多年内地の生活と異る殿中に生活せられたる殿下が長途の旅行に四圍萬端に

■御不自由無きか

さなきだに朝鮮内には未だ世間を見ない頑固者流も殊つて居て若し御東上になれば内地に抑留せらるゝのでは無かと懸念して居るものが絶無でもなからうけれどか、る事は今日有り得可き筈無く若しさる誤解の徒があるにしても十數日の後殿下が

■御機嫌麗はしく御歸鮮に

なれば氷解する事であるから何等懸念する事は無いが只御旅行中萬一御健康に支障を來し或は

■不愉快な御感想を

抱いて歸鮮せらるゝ事などがあつてはとの思惑から出來る丈けの細心を以て萬事に留意せられ御旅程の如きも殿下の御健康の狀況に依り漸次決定すると云ふ事になつて居て豫め御確定の無い次第と承る。予は奉迎旁々御機嫌伺ひの爲十日朝舞子に行つたが同地に於ける皇室の御準備と云ひ官民の熱誠こめたる歡迎は離宮創設以來未曾有の事と古老が語つて居るのを聞き欣快至極に思つた。殿下には豫定の如く同日午後六時半

■長谷川總督と共に

其他の隨員を從へ官民堵列歡呼の裡に御機嫌麗はしく御用邸に入らせられた予は御機嫌伺ひの爲め御用邸に伺候し近侍の語る所を聞くに京城御發以來汽車中は蒸暑かつたが肥前に御乘艦後は漸く冷氣を覺ね御氣分も健かに海上又靜穩なので殿下には『余は血色が惡いと云はれるから斯う云ふ時に日に曬されよう』と仰せられ甲板に出でさせられ

■護衛驅逐艦の操縱

肥前主砲の操從或は水兵の角力、踊等に興せられ長谷川總督並に係官より開召したる事を近侍の女官等に說明せられ軍艦は汽車よりも愉快であるなどと仰せられたが下關の盛な歡迎には驚かれた模樣であつた春帆樓に御投宿の際に長谷川總督は御疲勞を氣遣ひ別に急ぐ必要は無いから一日御逗留遊ばされては如何にと申し上げたるに其儀に及ばずとて同夜の如きは近侍の女官に土地の官憲より開召されたる事を御話しあり翌朝の如きは

■最先きに御起床遊

ばされ女官や近侍の者を御起しになり『皆弱いなー』と仰せられた程で御旅行以來一層健康を恢復させられたやうに拜し恐悅の次第である下の關御乘車以來宮廷列車の事とて乘り心地よく且つ御料車は海老茶色に金色の菊の御紋を打つてあるので沿道熱誠な歡迎諸員も自ら敬虔の意を深くする如くで殿下に於ても到る所の歡迎諸員に對し一々御答禮に力められたに拘らず毫も倦怠の御模樣も無く非常な御機嫌にあらせられ殊に名古屋御著の際

■停車場に御出迎の

王世子殿下に御握手をせられた御樣を見るに無限の御安心を御了解遊ばされたやうに拜されると尚ほ十日迄降り續いた五月雨が殿下御著の頃より一天拭ふが如く晴れ渡りたるは天も心あつてか殿下日和を現出したものと思はれる芽出度極みであると某宮内官吏は語つた(名古屋にて高須特派員發電)

◆御對顏の御喜び

名古屋離宮の李王殿下は世子殿下と御對顏の時は平素の口少なに似ず御言葉絶ゑず朝鮮語にて互ひに語り合はれ扈從者も感動したるが折柄プロペラーの音高く飛行機が離宮の上を過ぎたるに驚異の目を瞠られ世子殿下の御說明を珍らしく聞召され殊に王世子殿下が兵士と同樣長途の行軍に堪へ得るとの御話に其强健なるを殊の外嬉しと喜び給へり(名古屋にて特派員)

◆兩殿下　御懷しき御物語

新綠の戰ぎを愛でつゝ御睦じき朝鮮料理の御會食―金鯱の光り映ねて盛なる名古屋官民の奉迎

夜來の雨名殘無く晴れ初夏の氣爽やかに流るゝ十一日李王殿下を迎ふる名古屋市中は滿街の國旗薰風に翻り御旅館なる離宮天主閣に金鯱の光りは映ね渡りつゝ是より先き

◆李王世子殿下には

御出迎の爲十日東京御出發名古屋に著松井知事以下諸員の奉迎を受け名古屋ホテルに御一泊十一日は早朝御目醒あり伺候せる權藤事務官に對し李王殿下御滯京中は斯く晴れさせ度ものよとの御言葉あり午前七時半より松井知事御案内にて熱田神宮に御參拜築港其他を御視察後ホテルにて午餐を執り午後三時御出迎の爲名古屋驛に向はる、驛にては大庭第三師團長、水上控訴院長、堀田内務部長以下縣市名譽職文武官數百名御出迎申し上げ驛より

◆離宮に至る十數町

の沿道には久松第五旅團長の指揮する步、騎、砲、工、輜重の各隊約三千名及び官公私立學校生徒堵列し殊に在留朝鮮人學生職工等約百五十名は奉迎と記せる赤き紙旗を持ちて驛前に整列し其他市民又垣を爲して奉迎の意を表す。斯くて午後三時二十分海老茶の塗色鮮かなる宮廷列車は機關車頭に國旗を飜へしつゝ步廊に入り來れば軍樂隊の奏する君が代の譜曉々と起り堵列野砲隊の發する皇禮砲殷々たり。斯くて殿下には飯田驛長の御先導にて御車道の長谷川朝鮮總督、大垣迄出迎へたる松井知事及び閔長官以下供奉の諸員

◆四十餘名を從へて

下車あり此の時步廊最先頭の位置に就かせられたる王世子殿下はつと步を進められ擧手の禮も慇懃に久方振の御挨拶を申し上げらるれば殿下は世子の御成人の程に驚きの目を瞠りつゝ御手を差伸ばし握手の禮を賜はりつゝ三度四度打振られ仲々に離し給はず御滿足の微笑を含みて御容禮あり御兄弟十三年振の御對顏に御目の潤へるさへ拜されたり、斯くて王殿下には

◆奉迎の各員に擧手

の禮を給はりつゝ車寄にて驛より差廻しの自動車に召され殿下を先頭に八輛の車輛を整へ騎騎に前後を護られつゝ特に思召に依り一時間十二哩の速力を以て徐行し最も繁華なる廣小路より本町通りを進み離宮にては御居間寢室兩殿下御對顏室引見所等の設備殘り無く整ひ正門を巽一文字に押開きて車寄迄小砂利を敷きたる等目も鮮かなる中を先著の內人等の御出迎を受けさせられ殿下は

◆奧殿深く三十疊敷

二間を打通したる御居間に入らせられ小憩の後改めて御對顏の間に於て世子殿下と御會食紅織目に綾なる上に据ゑられたる一脚の卓子を中に折柄の新綠の戰ぎを愛でつゝ御懷かしき御物語あり次で文武勅任官四十餘名に面謁を給ひ後軍服を殿子の周衣に御召更へあり夜ともなれば召連れられたる典膳職の手に成れる朝鮮料理にて兩殿下の御睦まじき御會食あり別室には朝鮮と緣故深き

◆本縣物產百廿五點

を陳列し夜は又各室に名古屋在住の名家の水盤、生花を供へたれば殿下には其風情あるを愛でさせられ且つは御居間と寢室等に狩野永德を初め數々の名畫のあるに話題を求めさせられ御興夜に入るも盡きざりき(名古屋にて高須特派員發電)

●怖るべき病魔を驅逐せよ

◦我國には壯年者の死亡率が多い◦

『民族衛生研究の一方法』……宮入理學博士講演の二

前にも述べた通り歐洲列强は各々其の國家の精英を殫くして戰場に相殺傷せしめて居る我國は交戰國の一つには加はつて居るが幸ひにして

■其の狀態は

各交戰國と異つて戰場に多數の生靈を失ふが如き狀態ではないが之れ吾が民族の爲めに大なる幸福といはなければならぬ此の戰に於て多數の民族の中心活力たる青壯年を亡なつた列强は戰後に於ては再びラッセンゲネー即ち民族の

■保護衛生に

全力を盡して其の失ふたる處を取り戻す事に努力するに相違ない翻つて我が民族の備年狀態は如何と云ふに我が日本に於ては幼兒及び青年壯年の死亡率が甚だ多く老人の死亡率は非常に少い否な極言すれば死ぬべき老人を多く殘して居らぬ狀態である

■我國の如く

母乳を以て養育する良習慣あるに拘はらず其の兒童が何故に歐洲文明國よりも甚だしく死亡率が高いかと云ふ事は大いに考慮し研究せざるべからざる問題である猶我國の青年及び壯年者を斃しつゝあるは結核である事は既に調査の結果明らかに成つた然らば如何にして之れが豫防根絶を圖るかと云ふに

■之れは一言

にして盡きて居る曰く結核性患者を隔離して其の病毒を消毒するに在りと然れども斯くの如きは机上の空論であつて千萬遍繰返へしても實際行はるべきものではない玆に於て予は醫師及び各個人が深く民族衛生が其國家勢力の消長に關する事を思ひ能ふ限りの

■消毒豫防法

の實行を切望する次第である例令ば結核病者を有する家庭にては別室に隔離して其の咯啖、唾等を取りたる手拭を藥罐に入れ交々煮沸して用ひるやうにし病者も亦民族衛生の甚だ大切なる事を思ひ簡易なる此の消毒法を實行して怠るなきに至れば深く我が民族の間に浸入し居れる結核病も

■漸次其の跡

を斷つに至るであらう予は一昨年内務省の國民保健衛生調査委員を命ぜられ山梨縣下に於て最も不健康地たる二十五箇村に就て約一年を要して詳細なる調査を遂げたり其の結果民族の生活を顧みざる理想的の衛生論が實際に於て甚だしく

■價値少なき

事を知り得たり故に醫師及び患者並に其の家庭に於ては例令へ其の消毒方法は完全ならずと雖も其の豫防消毒の意味がよく了解され我が民族の爲めと云ふ深い覺悟があるならば庶くは怖るべき此の病魔を驅逐する事を得んか猶我國の小兒の死亡率の

■甚だ高きに

就きて予は諸種の原因に就き調査中なるが或は醫師及び世人が極めて輕々に看過し居る回虫が其の原因を爲すに非ずやと著目し目下之れが試驗を爲しつゝあり(終)

◉大相撲金泉興行　東京大相撲太刀山一行は大邱打揚げ後二十三日金泉金融組合裏手に於て興行すべく二十二日乘込みの筈なるが同地に於ては大相撲興行は始めての事とて素晴しき前景氣にて尚ほ州永山居昌其他地方よりの觀客極めて多かるべしと(大邱)

讀者文藝(一等に五十錢　賞品を呈す)

▲前のめ

○繭　顏(一等)　京城花園町一三〇　鈴木　孤峰

▲佳作　京城鐘青、龍山森山、同三崎松翠、京城森蘭吉坊、龍山朴念仁、京城二葉、仁川山川卯三郎、京城仁衛生

▲次回題　上圖の通り

◉小泥棒　廣島市千田町生れ住所不定の松尾元生(二二)は六月五日午前四時頃京城黃金町二丁目東拓會社の小使部屋にて傭人橋本所有の鐵製の煙草の灰落し一個を窃取して徘徊中を本町署の巡査に捕まる

妾を強奪せんとす

連絡船上陸客　十一日午前

課題及募集規定

■募集規程

天氣　くもり小雨

魚釣具及投網卸賣小賣　京城永樂町二丁目　吉備商會　電話三一四番　振替京城四三二八番
▢御中越し次第定價表進呈　▢遊船御案內

防水布　ゴム引マント

毛朱子防水布製(曲尺にて)　丈三尺七寸　七圓二十錢　三尺五寸　六圓八十錢　三尺三寸　六圓四十錢
金巾防水布製(曲尺にて)　丈三尺七寸　四圓四十錢　三尺六寸　四圓十錢　三尺三寸　三圓八十錢
京城明治町二丁目　古賀商店　電話一八三三番

株米相場に關係せんとする者は我示現を見て後にせよ千人限返信料十錢の外無料　東京向島寺島地藏橋際　福井地藏園

國產塗料其他化學工業品　S.N.
黑色防腐防銹塗料　ランプトリ太　鐵鋼木材に特効あり價格低廉
特製　アスフアルトリ太　保存期限極めて永し
ゴムパテー　品質優良外國品に優る
精選時計油
其他幾多の化學工業品製造
東京芝新櫻田町十七(電新一九四二)　新潟化學工業所　東京出張所
內國海外各地に代理店販賣店有り　形錄呈進

外科一般花柳病科　內科一般皮膚病科　普通及隔離病室完備　診察夜九時迄
京城旭町一丁目(本通り右に入る)　島崎病院　電話二七三六番

京城西小門町二二番地(昔醫院跡)　田中丸病院　【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり
院長　醫學士　田中丸治平　副院長　醫師　上野和夫　電話八八五番

蠅を全滅する重寶なる機械　第一號　金三圓十錢　第二號　金三圓三十錢
御座敷用として體裁頗るよし
京城本町二丁目　熊平支店　長電話六二四番　振替京城二二二番

……る者の姿となりて同樓中なるより之に來りし途中にて金氏を放逐したれを惻察せんと白平基、白南旭、白……る一件は犯人全部檢擧され此程京城文專、白諸基等を糾合し昨年十二月地方法院の公判に附せらる

十一日午後十時釜山入港高麗丸一二三等客……

◆古い朝鮮の雅遊に則った 漢江々上の觀火大會

興味ある歴史と古雅で詩的な盛觀美觀

今度の二十三日の土曜日の夜我社及び毎日申報社主催の龍山漢江々上で催さるゝ觀火會と云ふのは頗る珍しい且つ興味ある歴史を持た古い古い朝鮮の雅遊に則った遊びである

▽從て煙火大會や 何かとは大に異った處があつて云ふに云はれぬ古雅な詩的なものである一體朝鮮で大江々上の觀火行樂の一番盛であつた處は平壤の大同江と晉州の南江であつた其の盛に行はれたのは毎年舊暦の四月八日即ち灌佛會の夜である其の起元は明瞭でないが兎に角佛教上から來たとすれば非常に古いもので文祿役後などからは記錄もある鳥渡日本の生靈流と云つて燭火を流すと同じ樣なものではあるけれど朝鮮のは

▽非常な相違が ある古來四月八日に之れを行ったのは觀燈から來たものではあるまいか昔時は京城市内でも鍾路の如きは四月八日の夜は滿街燈火に飾られた其れを見物せんとして洛中洛外の男女老若は夕方から鍾路に押し寄せたものだ大江を控へた有富な市街で風流な觀察使などは之から思ひ付いて流燈を始めたものかも知れない其れ故日本の處々に行はるゝ生靈流の樣な小規模なものではない大仕掛なものである何となれば

▽豪奢の行樂の 爲にやるのだから頗る盛觀を呈したもので而して何故に主に平壤と晉州にのみ行はれたかと云ふと兩市とも資産家の集まつた全鮮内でも屈指の富有な市街であるから從つて種々の雅遊なども行はれた其處で此の思ひ切った壯遊も催されたらしい

京日愛讀者の特權

東京大相撲全鮮各地巡業中

東京大相撲太刀山、伊勢ヶ濱一行の鮮滿巡業團は愈々來る十五日釜山乘込翌十六日を初日興行。京城は七月上旬の豫定となつて居ります一行中には鳳潮や土州の如き老練な人氣相撲や。敷島、紅葉川の如き新進氣鋭の力士もあり、嘸や全鮮各地好角家の血を湧さす事と思ひます。扨て我社は今次の巡業を壯なりとし。例に依りて一行の景氣を添ふる爲め京城日報愛讀者各位との間に立ちて。種々興味と利便とを兼ねた問題を提供致す事となりました。我社は既に巡業先乘年寄熊ヶ谷と協定し大相撲の朝鮮巡業地

釜山　馬山　大邱　金泉　大田
群山　京城　仁川　平壤　新義州

の各所に於て興行中其期間適用の

京城日報 讀者木戸大割引

券を其都度本紙に刷り込み切拔使用せらるゝ樣として提供致します即ち木戸錢は三十錢の定額を本紙刷込みの割引券持參の方に限り二十錢で入場が出來るのです更に京城興行中は本社、地方巡業中は各地の重なる支局にて

幕内お好み相撲 ‖ 飛付五人拔

など好角愛讀者諸君の爲め特に出さしむる事とし、角道の興隆上大々的氣勢を添ゆる筈になつて居ります

◇薔薇の花

白耳義領事館で催されるお茶の會

◇旭町府廳の裏の青葉かげ、白耳義領事館の美しさ、月の夜はほぞんかけたか杜鵑さへ來さうな樹立には南山颪カーテンをふきまく

◇庭にはまた紅、白、眞白、色とり〴〵の花薔薇、黄金色の髪ふさふさと氣高き西歐の乙女かとまがうその風姿、株は五百に餘るといふ

◇總領事ブリポジヤ夫人は毎年此の花をわが子のやうに賞でてゐる花ははる〴〵白耳義からとりよせ西比利亞の汽車で東洋に運ばれたものといふ、やさしきその姿、白に紅に京城の初夏を咲きみだれてゐる

◇しかしながら薔薇の故郷は戰塵にまびれて、そのかみ手折りし人の姿もありやなしや、ブリポジヤ夫人の祖國になげくその涙も實にいたましき限りである、あはれ異白なる花薔薇よ!!

◇白耳義婦孤兒救濟會は例により麗はしき京城婦人の眞心である大和撫子、紅き心の情けの露、此の十六日(土曜日)の午後には領事館内にお茶の會を催す

◇入場料は一人廿錢 やさしき日本人の同情により午後三時から七時までの間には庭内の薔薇の花を買つて頂いた上、みどりの樹蔭にてはアイスクリーム、お茶の店、さてはおすしにお團子さへ用意されます

◇餘興としては朝鮮の狂言に朝鮮の獅子舞あり花さく庭に花のやうなお客樣、土曜日の午後は嘸楽しき限りと思はれます

◇幹事は例により會長英國總領事夫人レー夫人を始め内地人側には國分、持地、鈴木各長官夫人石塚東拓總裁夫人、久水夫人、金谷夫人、佐々木夫人等一般の御同情を希望してゐられます

◉愛婦役員囑託

愛國婦人會朝鮮本部にては今回左の各夫人に對し辭書の通り役員を囑託したり

本部評議員 前田憲兵大佐夫人 前田鎰子
同 李王職武官事務官夫人 武藤俊子
同 田中事務官夫人 田中哲子
同 近藤事務官夫人 近藤伸子
同 末松事務官夫人 末松むれ子
同 檢事事務官夫人 俵藤 貞子
同 栖本警務署長夫人 栖本かつ子
公州支部副長 公州地方法院長夫人 淺田きく子
光州支部副長 光州地方法院長夫人 前田きん子 花田とよ子

◉迷信の屍體遺棄

忠南大田郡儒城面新興里常民農朴氏(六〇)は本年陰暦四月十日午後十一時頃長男沈士弘の妻李氏(二三)が女兒を死産したるも相當埋葬の手續きをなさず翌十一日午前一時頃死兒を菓莚に包みたる儘佳水院川に投棄したるを儒城面場垈里天野萬助が魚釣りに赴き發見し儒城憲兵出張所に屆け出でたるを以て佐藤上等兵は現場に驅け付け大田より醫師を招きて檢視の上取調べたる結果右朴氏の所爲なる事判明し且つ其の原因は李氏は是迄三回共死産したるより死兒を投棄する時は後ちに生るゝ小兒が長生すべしとの迷信より此の始末に及びし旨自白せし爲め情狀を酌量し大田憲兵分隊に於て即決罰金二十圓に處せられたり

◉四月中裁判件數

四月中の裁判所及び檢事局取扱事件數左の如し

▲民事々件 新受七二一五七件、舊受三三一七件、合計七四四九四件にして其の内終局せるもの七一一八〇件終局せざるもの三三一四件を算し之を前月に比すれば新受三九三三件舊受四七件、終局四〇〇三件を増し終局せざるもの二三件を減せり

▲刑事事件 新受二七四六件、舊受六六五件、計三四一一件にして其の内終局せるもの二六〇七件あり之を前月に比するに新受二四件、舊受一六件、終局せるもの一二九件、終局せざるもの九九件を減せり

▲檢事搜查事件 新受五三五九件、舊受一〇五八件、計六四一七件にして其の内終局せるもの五三二七件、終局せざるもの一〇九〇件なり、之を前月に比すれば新受二三六件、舊受一〇五件、終局せるもの三三五件、終局せざるもの三二五件を增加せり

諸の砂

◉氣の弱い男 東京本郷元町生方兼平(二七)は紛擾川に新調した衣類一組を盗い女達に詐取されたのを悲觀し身投げして自殺を遂げた

◉婚禮途中を 大分縣大野郡南緒方村庄れの土方武内政義(二五)は大分郡庄内村安田よしの(二六)と親しい仲になつて居る内よしは同村の安藤和一と結約が出來て六月五日夜花嫁姿で夫の家に輿入れの途中に政義は外一名の友人と共に襲撃して大騒動をやり行列人數名に負傷せしめた

◉二千年の舟 大阪府東成郡鯰江町の川底三十尺計りの所から長さ七間程の獨木舟一艘を發見したが鑑定の目に依れば二千年以前のものだといふ

◉辭世の歌を懷中 愛媛縣北宇和郡九島村避病舍看護人松井仁三郎(六九)は……(三五)といふは一箇月の後……まつたが自殺するつもりか辭世の歌を書いて懷中してゐた

◉男女の大格鬪

江原道洪川郡化村面君業里農李乘龍(二八)は二月十五日夜同里南鳳祐の不在中忍び込み就寢中なる鳳祐妻金姓女に對し怪しき振舞に及ばんとして同女に胸倉を掴まれ格鬪したる後辛くも逃亡せんと同家を立出でたるに金姓女が追随するより更に振り返りたる所を割木を以て金姓女より強打されたる爲め大に憤り直ちに割木を奪ひ取りて金姓女を亂打し九日の負傷に絶命するに至らしめたる事件は此程京城地方法院の公判に附せられたり

夏季草花水揚秘法

◇合歡花、百日紅 根を燒くべからず瓶中に鐘乳石の粉を一匁程入れて挿すべし又根元を割りて細辛の汁を附くるもよし

◇牡丹 枝の元を油火にてもやし瓶中に蜜を入れて挿すべし

◇草牡丹、芍藥 枝の元を燒き冷水に挿し夜はとりて風の當らぬ所に横にし葉に水をそゝぎかけ翌朝生け替ゆればよし

◇鐵線、鐵線花、罌粟、虞美人 切り口を强く焦がし瓶の底へ石炭を少し入れ冷水に挿す

◇檀特花、美人草 沙參の根と汁を少し入れ冷水に挿す

◇山梔子 切り口を少しけずり鹽水にて挿す

◇天麥、波羅花 瓶の中に少し鹽を入れること

◇煎春羅、千日紅 節を少し堅に割りて挿す

◇蓮花 花を倒にして切口に泥を塗り其穴をふさぎ切口を瓶の底につけて挿し後水を入れること

◇牡若、燕子花 蜜に小葉の在る處即ち節を堅に少し割りて生く花に水をそゝぐ可らず又た根元を燒くことを忌むなり

◇百合、山丹、夜合、黄精 根元を少し燒き砂糖水にて生けるなり

◇桃花 瓶中に米の洗汁を指すべし

その日その日のお菜

▲田作りの膾 大根と人参を薄く短册に切り人参を細く千に切つて一緒にまぜ鹽をふりかけてざつともみ三十分間其儘にしておいてあとでざつと水洗ひしかたくしぼつて酢にひたして置きます別に田作りの頭をとつて文火の焙烙にかけあたゝまつたならば田作りを二枚に割つて骨を取り一寸位の長さに切つて酢につけさきの大根と人參をとぐらせ水を切つて酢一杯砂糖半杯醬油半杯をまぜ合せた汁をかけて食べます

商況

債券現物特電
[illegible]

公債直取引
[illegible]

深川在米特電
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式
[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

雜報

◉露貨復暴落
[illegible]

◉銀大豆の新記錄
大連銀相場騰貴して本年第一の高値を示す……

又一圓方奔騰
[illegible]

齊に騰貴 大豆之に次ぐ
[illegible]

◉綿布更に突飛
綿布相場は九日より十日に亘り……

三銘先物は遂に九圓五十錢より十圓
[illegible]

市中在荷の大缺乏を訴へ
[illegible]

は粗布三ヱ一二百 三十二圓細布一ヱ十三圓二十錢處
[illegible]

十二日前場 棉高龍シー 現物九圓三十五錢
[illegible]

◉北海色豆高下
[illegible]

◉正米弱含み
[illegible]

◉棉移輸出と暴騰
[illegible]

續々内地に廻送
[illegible]

大抵賣物濟 七十錢處に
[illegible]

◉山城茶高見込 三割方の減收
[illegible]

一割以上の騰貴
[illegible]

森仲買店
仁川米豆取引所仲買人

京城正米
久しく晴天を續けたる爲め……

南大門の廻穀
[illegible]

釜山穀物(十一日)
[illegible]

生魚市場
釜山水産市場(十一日)
[illegible]

三巴仲買店
仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目

仁川期米
▲十二日前場(下放れ跡跳ね返す)
大阪天候曇天 錢安の入電に寄付たる投げに新規の賣物多く直に八十錢と瓦落 大阪二節四十錢三節三十一錢と安移 成行を示し大混戰裡に底強き
[illegible]

市場零聞
▲大混戰下遊る
小雨降り人氣は減
切安唱へなりし正米界は反つて高人氣
[illegible]

雨降と底強し
不勢に陷つた場面も直ちに一變強硬
皮肉の買物顯出 降雨を見越して續出の利喰
低落の程度も尠く
▲雨量尠なし
注文入込み正米界は内地
[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人 高田仲買店
[illegible]

仁川米豆取引所 十二日の八月限
[illegible]

此頃の眼の病 腦の病

◉此頃の眼の病 此の頃から夏季へかけては時候柄のぼせ目が多い、それから星目、角膜粒(俗に言ふ黒目の中へ出來る星)疥眼(俗に言ふものもらひ)と言つて黒目の周圍が膿のやうになりそれが因で角膜軟化といつて黒目が溶けるやうになつて眼のつぶれる事のある病、木の枝や草の葉が一寸刺したのが因で大事になるつき目、それから誰も知るトラホーム、爛眼目の病が今一番多い。

◉眼の養生 凡べて眼は一寸した事が因で大事になる、世に物の見わない程情ない事は無い。だから少しでも惡いと思つたら直ぐ手當をせねばならぬ。それには直治水といふ目藥が健腦丸本舗として有名な丹平商會の製藥場の藥者の研究で製造發賣されてゐる。此の目藥は効能が直ぐわかる程よく効く上に、其の製造が誠に親切で、例へば瓶や、添へてある硝子製の點眼器、ガーゼまで十二分に消毒してある。又此藥の瓶は透明にしてあるが、これは幾ら長く置いても沈澱なその出來ない事を示してあるので、此一事を見ても此藥の優れてゐる事が知られる。

◉此頃の腦の病 此頃はまた腦にも惡い時である。上逆せるから頭痛、眩暈、便秘などいふ故障が起り、腦神經衰弱やヒステリーの人などは餘計に病が惡くなる斯ういふ時には何は措いても健腦丸は用ひる必要がある。

◉眼と腦との關係 眼の惡いといふ事も矢張腦に重大な關係がある。前田醫學博士の實地經驗のお話で、眼が惡いのを治した爲に腦神經が良くなつた例を澤山擧げて居られる。然れば眼に惡い今の時季は腦にも惡い。故に腦を大事にする人は同時に眼を大切にせねばならぬ。

◉眼と腦との養生 前村醫學博士が有効を證明された健腦丸の腦神經とヒステリー等に對する偉効は既に世人の知られる所である。されば此種病者は勿論、常に頭腦を使ふ人、酒好の人、それから頭痛持、便秘性、逆上性の人々は此際是非健腦丸を用ふべきで、同時に平生目を多く使ふ人、夜更しする人、目が霞み又は目が直ぐ疲れるやうな人は、たとへ眼病といふ程で無くとも、此の目の病に一番よい新しく出來た目藥直治水を一日一回宛使ふ樣にしてゐれば、目の爲腦の爲これ程安心な事は無いのである。

健腦丸の定價は半週分四十錢から十週分五圓迄種々ある直治水は十錢、廿錢、各藥店にて販賣してゐる

報
京城測候所 [illegible]

△通告者には五十錢……△宛名は京城……

明君道中記

第百七十四席 田邊南龍口演

松平長七郎は是を見て 長『扨こそ一揆の類であらう、片端より打仆して此奴等を取押へ縄打て突出せ』ろ處は上の爲宅兵衛宇兵治續け」に仰せられて腰に帯したる正宗のお刀を抜き揃つてそれを飛山しました故大山詣りの者は大きに驚き ○『それ先達、侍が刀を抜た、怪我をすると叶かねね逃げなさい』バラ／＼魔の方に逃げ出す先達は泡を食つて瀧へ落ろ、持つて居た鈴は無くしてしまひゴロ／＼轉げて逃げ出す、長七郎は何所までも追蒐けやうとする處へ宅兵衛宇平治の兩人が飛んで參り、お袖を押へて是を止め 宅『恐れ乍ら是は一揆の類ではございません、雨合山大山寺へ參詣をいたす者で、俗に大山詣りと申て白裝束にて參詣を致す者でございます』と聞て長七郎 長『ハヽア左樣か、大山へ參詣をいたす者か、予は又異形の服裝故一揆と心得た定めし彼等は驚だであらう予が威違を致した事を申して通して遣はせ』宅『コレ／＼皆の者其方等を一揆と間違たのであるから決して心配を致さす此所を通れ』○『オイ／＼侍が何か云つて居るぜ』△『驚かせやアがつて俺は三年命を縮めた、先達は何うした』○『瀧へ落ちた』△『上げて遣んな』大勢で先達を瀧から上げる、投げ出してあつた納め太刀を拾ひ上げて前な茶店の前へ參つて覗き込む長七郎は總躰に腰をかけ笑ひ乍ら 長『コレ／＼同人共其方共は大山へ參詣に參る者であると云ふ事であるが左樣か』○『ヘエ私共は江戸の者でございます、是から大山樣へお參りをいたす者で決して一揆ではございません』長『其方共が白き衣類鉢卷などをして居るから一揆と間違ひしがイヤ大きに氣の毒な事をいたした、サア心配なく通るが宜い』○『ヘエ有難うございます、サア皆さん行きませう』と皆々鈴を振つてゾロ／＼と出蒐ける、長七郎は兩人の家來に對ひ 長『コリヤ兩人、予も大山寺に參詣をいたさう』と仰せられ彼の同行者の跡から尾いて參りますから講中の若い者は怖々ながら、顧盼つて『オイ／＼先達、今の侍が跡から尾て來たぜ、又抜くと叶けねねから早く行かうぜ』足を早めて馳け出す故長七郎は笑つて 長『コレ／＼町人共、最早心配はない決して力を抜きはいたさん、俺も大山に參詣する故一緒に伴うてくれ』と跡より尾いて御出になる、講中の者は鈴を振り立て懺悔々々六根淸淨と參りました、相模の國の大雄山寺 ○『サア／＼先達來ました』彼の侍も遣て來た 先『何でも關はねね弄辦の瀧、一名御淨の瀧だ、皆此所に掛つて身躰を淸なければ叶けない』皆な若い者は素裸になつて右の瀧壺に飛込み頭から瀧に打れて身躰を淨めます、長七郎は瀧壺の傍に來て見て居ると講中の若い者は皆江戸ッ子で然も職人と見え、各々身躰に刺靑をして居ります、刺靑なぞは長七郎は見た事がございませんから肝を潰してお在なさつたが突然傍に居た一人の者の背中を手拭で拭ますから彼の男は驚きまして ○『』長『何程拭ふとも落ぬが』○『拭いた處で落ちるわけはありません、是は刺靑で』長『刺靑とは』○『身躰を針で突いて墨を入れますので』長『ハヽア入墨か』○『縁起の悪い事を云つちやア叶けません』長『如何にも美事であるな、此の圖は何んである』○『是は旦那御存知の平太でございます、伊豆の伊東ヶ崎の巖窟に平太が入つて蟒を退治た處でございます、此の刺靑を刻るには二年も要つた大した金目のものでございます』

朝鮮總督府醫院御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

六月十四日 舊四月廿五日丁亥 本命四緑 破 佛滅

▲四緑 無遠慮の事有る日新事見合北方は吉 ▲五黄 緊弛みの事有る日新事手控孫事は [illegible] ▲六白 平常の日と [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible]

演藝案内

御成座 電話一九一〇 新派劇革新倶樂部一行第十六回藝題 一番目「女の眞心」 二番目「喜劇」植木屋 [illegible]

黄金館 電話三六三七 六五二 六月九日より新提供 [illegible] ▲第七第八ポーリン 全十篇二十卷 [illegible] ○新派悲劇かげひなた 全十五卷 [illegible]

壽館 京城壽町 電話一〇三 女義太夫豊竹小糸一行 當る六月十二日四日目藝題 ▲累物語土橋の段(小[illegible]) ▲御祝儀 [illegible] ▲大切一座 [illegible]

浪花館 明治町 滿員御禮 益々大好評!! 廣澤夏菊

大正館 櫻井町 電話八七三 六月十三日より提供する特別大寫眞 [illegible] ○人情劇國涙 全三卷 ○新派悲劇怨の鐘 全四卷 ○滑稽活劇チャプリン新聞記者 二千呎 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 東京藝術座松井須磨子一行 [illegible]

滿員御禮 大入札止 暑さにも拘らす多大なる御贔負に依り毎夜大入札止滿員の盛况を呈し厚く御禮申上候尚此上とも一層御引立御來聽被下度願上候 女義太夫豊竹小糸一行後援會 京城魚商組合

有樂館 早川演藝部直營 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番 東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴアーサル會社特約 [illegible] ○神秘劇「ふた道」 全三卷 ○世界的の連續寫眞第三紫の覆面 [illegible] ○新派家庭劇「心の闇」 全二百卷 [illegible]

子宮病血の道と神疱湯 リウマチスに惱む人は

彼是と迷ふ無く 最も能く効く良藥神疱湯を試みよ現に百方手を盡しても効なき難症の血の道や、ヒステリーや、多年不治の難症の子宮病を始め固疾の疝氣リウマチス神經痛の方々が神疱湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し密すの餘り懇篤な禮狀(現在保存)一般の閲覧に供す)を送る實例も尠からす若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく卽刻試よ神疱湯は家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

●こんな徴候に 胸、腹、手、足、脊、腰、膝、肩等の凝り、腫れ、痛み、しびれ、又は筋が張り痛む處が移動し ●何となく ●胸につかへ ●腹が差込み ●腹が張り ●食が進まず ●便秘又は下痢 ●寒氣 ●眩暈 ●耳鳴り ●頭痛 ●血の道 ●肩凝り ●齒痛 ●夜眠られず ●足冷え腰に力なく ●根氣薄らぎ ●肥高ぶる ●しく物事に感じ易く ●りりの顔と手足の浮腫 ●子宮病血の道及疝氣 ●リウマチス神經痛よりおこる脚氣 ●片時も早く神疱湯を試みよ

藥價 十日分 牛二十五錢 ●一週 [illegible] 五週 [illegible]

名古屋市東區京町二丁目 藥種問屋 本舖 荒川長太郎 電話 [illegible] 振替口座 東京 大阪 [illegible]

ルーデサック 男用一打 四拾錢 特製六拾錢 [illegible] 麻病梅毒專門藥 [illegible] 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 滿鮮本部

人からきらはれる わきがは

◎音尾博士の創見 夏のアセが出る時ョリ今が早く治癒る [illegible] 東京府下淀橋町柏木百八拾番地 東京博愛藥院

消化と毒けし

●佳味芳香一粒爽快
執務の時や煙草の前後には先づ仁丹召上れ惰氣を去り元氣を復す
●仁丹の五拾錢包に添付のブック形容器

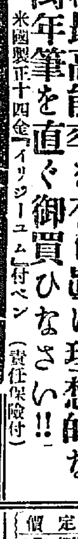
主効 消化不良 胸腹の痛 食欲不進 頭痛眩暈 舟車の暈 精神鬱結 中暑傷寒 惡酔惡心 吐瀉下痢 惡疫豫防

金言 完全なる教育を子女に殘すは最良なる遺產なり(スペンサー)

襟裏へ 定價 三個入金四十五錢 一個入金十五錢 各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり 京城代理店 新井藥房

"PINE" 是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!

◎大日本政府登録 米國製正十四金「イリジーユム」付ペン(責任保險付) ◎附言パイン萬年ペンは自然の破損又不具合の節は滿一ヶ年間交換又無料修繕 完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕 堅牢無比



東京パイン萬年筆出張所 京城旭町二の六

定價 [illegible] 發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三一〇番 陳列所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

ヨクキク ホシ下痢止 定價 10. 20.

▲急慢性下痢 ▲胃腸カタル ▲吐瀉、腹痛 東京 星製藥株式會社 各地特約店及藥店にあり

特約店 京城府太平通二丁目三〇五 キムラ藥房

（明治卅九年九月十八日第三種郵便物認可）大正六年六月十三日 THE KEIJO NIPPO 第三千四百九十九號（一）

京城日報 第三版

六月十三日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金拾五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 電話 [illegible]

大阪・米（十二日後場）

六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 [illegible]
二七五、一〇 二七三、〇〇 二一、五五七 二七二、九五 [illegible]

▲十二日後場 [illegible] 東京二十二圓六十九錢 [illegible] 後寄五十九錢の入寄を受けたるも [illegible]

▲依然凝る [illegible]

▲精縮少す [illegible] 大阪の大暴落を受けたるも頭上晴模樣なれたり

▲現物界 [illegible]

十二日の八月限 [illegible]

米國と支那

京城日報

北米合衆國の政權、デモクラット黨の手に歸して以來、對外不干涉の策を格守し、其の支那に對する外交關係に著しき變化を現はし來れるは、何人も能く知る所にして、其の政治的借款に迄も關係するをすら、內政干與の嫌ありと爲して、米國代表者をして、借款團體より脫退せしめたるが如きは、寧ろ、潔癖に過ぐるといふ評判あれども、米國政府の、其主義に忠實なるを、諒解せざるものなし。

然るに最近に及びて、世間、米國政府の支那の內政に干與するとを、非難するの聲嘖々たり、蓋し、過般支那總統府と、段內閣との間に衝突を引起すや、米國公使ラインシュ氏は、專ら、總統府を援助し、黎總統を慫慂して、段祺瑞氏を罷免せしめたるは、世間公知の事實にして、或は其際、ラインシュ氏は、此間の政治運動を貫くる爲めに、數十萬圓を供給したりと傳ふ、其事、果して眞なりや否や、吾人の與り知る所にあらずと雖も、世間、皆米國公使の熱中爲さざる所なきを、認めざるはなきなり、最近、米國公使、其本國政府の訓令なりとて、支那政府に勸告するに、其第一要務は內政の調和を全くするにあり、參戰の可否の如きは、第二の問題なりといふを以てしたりと云ふ、其事は、餘りに突飛なるに似たりと雖も、段總理罷免より、彼が如き大混雜を招致したる、支那に於けるラインシュ氏としては自ら、此手段を取らざるべからざるや論なし、併しながら斯く支那の內政に干與するとは、果して華盛頓政府の本領なりや否は今猶ほ疑問なり。

吾人をして、忌憚なく言はしめば是れまで北米合衆國外交家の、支那に對する所爲の、往々迂濶にして常規を逸するものあるは、主として、其外交官たるものも、實は外交專門家にあらず、關係者、亦東洋の事に通せずして、勝手氣儘なる振舞を爲すもの多きに是れ由る、往年、滿洲鐵道中立を提言して、世界各國民の爲めに笑殺せられ、其事成らざるも、一人の其責を引くものなくして更に世人をして、米國の外交の威譏に類するなきかを疑はしめたり、其後、米國外交家の作爲する所數ば、脫線的なるの議あり、[illegible]此度の北京公使の事は、其[illegible]甚だ議するは尙ほ早きに過ぐるや勿論なれども、其のデモクラット政府の、外交方針と相容れざるものあるや、言を待たざるなり。

熟ら、今日の支那の形勢を案ずるに、其名は共和國なりと云ふも、民政の實は存せずして、社會の一階級一部局に屬するもの、互に政權を爭ふするに過ぎず、世人相呼びて、官僚派武人派民黨の區別を爲すも、民黨其ものすら、少數官僚の自ら呼稱する所にして、一般國民とは沒交涉なり、黎總統の、段祺瑞氏を斥くるや、其の北方官僚派たり、武人勢力を根據とするものたるを排するの精神に出ると稱するも、其後任として、徐世昌氏を擧げむとして拒まれ、其より王士珍氏、李經羲氏を壓して、皆拒絕せられ、黎總統窮窮、爲す所を知らずして、遂に南北文武妥協を以て、其局を結ぶを願ふに至る、其の段氏を斥けたるは、全く無意味に屬すること、今や全く明白なり、支那の政局何れに定まるべきか、今此に豫言するを要せざれども、其の階級的、部局的政爭を繰返すに過ぎざることは、智者を待ちて而して後に知るを要せざるなり。

支那商工業の變遷（廿）

今關天彭

二、隋唐及び五代の商業（其四）

五代五十餘年間、兵亂相尋ぎ、諸方繁華の都邑も、群雄の爲めに割據せられて、商業上の交通が不便となつた。試にその都としたところを擧げる。後梁は大梁國に都す、即ち汴で、今の河南開封府である。後唐は洛陽に都す。今の河南河南府。後晉漢、後周の三代は後梁に同じく大梁に都す。また五代の十國は、吳は淮南、今の江蘇揚州府。南唐は、金陵、今の江蘇江寧府。前蜀は西川、今の四川成都府。後蜀も同じく西川。南漢は廣州、今の廣東廣州府。楚は潭州、今の湖南長沙府。吳越は杭州、今の浙江杭州府。閩は福州、今の福建福州府。南平は江陵、今の湖北荊州府。北漢は晉陽、今の山西太原府に割據した。疆土の分裂が此くの如くであれば、種々の障礙が出來、商業の振はざるは理の當然である。これ時代の食貨志は明瞭を缺き、記述上に困難ではあるが銅法、鹽法、麴法についてはやゝ考ふべきもがある。

（一）銅法。後唐の莊宗の同光二年、富家の多く錢を貯へたり、工人の錢を鎔つぶして銅器を作るを禁じ、また沿邊の州鎭にては、禁制を設けて商人の錢を持つて境を出るを止め、明宗の天成元年、中書門下の奏聞によつて、銅器及び碎銅にて器具を作るを許さず、錢を鑄潰して貨買する人を罪するには、盜鑄錢の律によつて處斷するの詔を下し、後晉の高祖の天福二年には、一切の銅器を禁じ、銅で作つた錢は、政府で鑄造する事とした。（二）鹽法。後唐の明宗の長興四年に、顆鹽（地鹽）と末鹽（海鹽）とを食すべき地方を定めると同時に顆鹽商人の禁令を犯した時の罪を定め、後周の太祖廣順二年に、更に鹽法を定め、世祖の顯德元年には、末鹽の禁令を犯すもの多きによつて、宋（山東）以西の十餘州に顆鹽を食せしめ、二年に至つて、また鹽法を改正した。（三）麴法。麴に稅をかけるのは唐からで、推酤と並び行はれて來たが、その後百姓は官麴を買うて、自造麴を造るを得ざるやうになつた。後唐の明宗の大成三年には、官麴を買ふ酒造家では自造麴で作つた酒を賣るを許しまた長興二年には、城中居住の人民は麴の私造を禁じ、地方人民の自家用に供するのを許した。

この三法の外、商業上の課稅には、貨物の通貨稅があり、甚だしきに至つては、牛や畜類の通過稅までも取つたといふことである。また當時中原（河南の地）の地と割據の諸國との各地から産出する物貨について、往往禁令があつた。後周では、鹽の漳河以外に出づるを禁じ、蜀では錦類其の他の珍物の中原の地に入るを禁じた等の事である。以上が五代商業の一斑である。

海拉爾城（二）

黄龍旗翩翻たる

▲上述海拉爾喀爾喀間の街道に於て野頭一番の衝突に遭遇したる蒙軍は卽ち例により食料品受取りの爲め海拉爾にひつゝありし蒙軍の一小分派なりし由にて當初勝福部下の配當兵に通行を遮斷せられ如何に事情を述べて他意なきを辯明すと雖も頗る侮蔑的待遇の下に肯んせざりし結果遂に意氣地的態度に出で止なく砲火を交ゆるに至りたる次第也と云ふ

▲然るに此報一度蒙軍の本陣に傳はるや全員の憤激は留むるに由なく勝福側に在りし蒙軍出張部員の重立ちたる者等は直ちに勝福を其衙門に訪ひ詰るに配當兵の不法行爲を以てしたるが結局勝福の部下二名と出張員側より相當人員を出して兩者卽ち同道の上衝突兵双互間調停の爲め赴かしむるに決したりと

▲偶聞く所に依れば該談判に際しても勝福身邊の部下等は齊しく挙銃を擬して威嚇的態度を執りたる爲め蒙軍側に一段の惡感を抱かしめたるものゝ如く實に暴戾無道の極とも見る可きは卽ち問題の配當兵等が蒙軍側調停員に與へたる再度の敵對行動之れなりとす

▲然り而して前記調停員等一行が目的地に近接するや配當兵の一團は恰も待ち設けたるかの如く猛然一行を目覺けて一齊に急霰の如き砲火を浴びせたる一事にて此際勝福側よりの調停員二名は愴惶として自隊內に驅け込みたる儘平然何等施す處もなかりしと云ふ

▲此事たるや餘りに突發偶然にて且は全然豫想以外に屬せし爲め蒙軍側一行に非常の慘劇を演出せしめ遂に內二名は惡戲の如き敵手の捉ふる所となり其の儕及下に葬られたりと云ふが如き慘虐非道も亦爾かく極點に達しては蒙軍たりとも又奚んぞ之を忍ぶを得んや

□隣邦を奈何……對支國策を確立せよ

中島生

汎亞細亞主義（二）

若しも彼の北米合衆國が、十九世紀の初葉に於て、世界の表に宣言して、南北米洲の現狀は、歐洲列國の干涉によりて、之を破壞するを得ず南北米洲を以て、歐洲列國は新に植民的經營の舞臺となすを許さず。亞米利加は亞米利加人の亞米利加にして、亞米利加人が之を處理すべきものであると做せる、所謂モンロー主義なるものが、道理に基づく正當なる主張として、是認せられ容認せらるゝものであるならば。我等亞細亞人として、亞細亞は亞細亞人の亞細亞である、歐米諸國の侵略を許す可らず、亞細亞の事は、須らく吾人亞細亞人をして處理せしめよと主張するに、何の不都合があるか。所詮は權力の有無強弱の問題である。倘し我が日本帝國及び我國と同文同種の間柄であり、地理上最も近接の地位に居る國が、眞實に國民他の感情を一致し、眞實に提携して步調を偕せて進むことが能きるならば、茲に吾人が假りに稱して亞細亞モンロー主義或は汎亞細亞主義と做す所のものを主張するに當りて、歐米列國と雖も、萬更頭ごなしに莫迦にすることはできないであらう。試みに世界の地圖を攤べて、乞ふ見よ。歐羅巴の何處に亞細亞の國の屬領があるか、亞米利加の何處に亞細亞の國の勢力地域があるか、亞弗利加の何處に亞細亞の國の植民地があるか、而して之に反して世界の表面に於ける白人の勢力は如何。單に亞細亞一洲のみにすら、亞細亞以東、或は波斯と云ひ或は印度と云ひ、或は西伯利亞と云ひ、皆白人の勢力の下にあらざるは莫き現狀ではないか。亞細亞に獨立の國を成すもの、我が日本と支那とあるのみ。然かも支那そのものが、旣に列國勢力の角逐場である。白人の勢力は其の廣大なる邦土に牢として殆ど拔く可らざるものなり。茲に於てか亞細亞に金甌無缺の國家を形くるものは、單り我が日本帝國あるのみではないか。歐洲の事は歐洲人之を處理す、亞米利加の事は亞米利加人之を處理す濠洲の事は濠洲人之を處理す、而して單り亞細亞の事は亞細亞人之を處理する能はざるのであるか。滔々として白人の勢力の及び來るに任せて、叩頭之を迎へざる可らざるか。白人動もすれば黃禍を說く。然れども黃人は寧ろ白禍を憂ひつゝあり、否な歐羅巴に於ては今や白人が白禍に惱みつゝあるではないか。縱令今日いくら亞細亞の事は亞細亞人をして處理せしめよと叫んだところで、先づ肝腎の隣邦支那が、一向冷淡であつて、或は米國に賴り、或は英國に賴り、獨逸に賴り、常に白人の前に叩頭して、所謂遠交近攻の策を外交の金科玉條とするが如き時世に於ては、吾人の亞細亞モンロー主義は、徒らに白人嘲笑の具に供せらるゝに過ぎぬであらう。

併し乍ら支那の態度がどうであらうが、歐米列國が喜ばうが、喜ぶまいが、何の道吾人は亞細亞自治の大理想を貫徹せざるを得ぬのである。少くとも或る範圍內丈けでも此の理想を實現するに非ざれば、日本も安心がならぬ、支那も危ないのである。然らば如何にして此の理想を實現せんとするや。之を實現するの途は、先づ日本と支那の兩國が力を合せて相互の利益を計るに始まる。然るに此の兩國は果して相互永遠の利益の爲め、安全の爲め、協力して亞細亞自治の第一步を進むる事ができるかどうか。

白山黑水行

滿鐵 上塚生

（第二信）（平壤丸より）

本日午前九時半南大門發元山行の汽車に投じ申候新綠の色染ゆる京元線初夏の勝景は今更此處に述ぶる迄も可無之候小生も昨夜の睡眠不足に車中の多くは睡魔の[illegible]へて候それにても福溪以北の翠巒中盤、[illegible]あたりの風光には睡き眼も自ら冴へ來る[illegible]へ申候

午後五時過汽車はやゝ定刻より遲れて元山に到著仕候今夕浦潮に向け出發致すべき平壤丸は、各等旣に滿員のよし宿引連の申候にこれは失敗たりと大急ぎにて東な朝鮮郵船代理店に走らし交涉の結果やつとの事に一室の融通を受けて、やれやれと胸なで下ろし乍ら、人に取られぬ間と直に稅關埠頭より解船にて本船へと乘船申候

船は午後六時出帆の豫定に有之候ひしも、支那苦力の四百餘人及び甲山久原送りコークスの多量を積込候爲約三時間を遲延致し、空に新月の光淡き頃漸く元山を發し申候、支那苦力は山東省より仁川を經て元山に來り本船にて浦鹽に航するものにて御座候、四百餘人の連中が各自に一括の寢具雜品を肩にして、ドヤ／＼と乘船致したる當坐は混雜の程も名狀すべからざるもの有之候ひしが、やがて少しく靜まりしと見れば、彼等は甲板と云はず、コークス積の上と云はず、又機關室便所の橫も御かまひなしに、取選ばずゴロリと許り橫臥しスヤ／＼と眠りに就き申候。

船は至極平穩にて進行を續け居候本船は噸數こそ大ならざれ、設備は至極完備致し、朝鮮沿岸航路船としては上乘のものに御座候一等船客は十二人にて滿員の盛況、只今サルーンは賑合にて御座候。寫眞研究に浦鹽より歐洲に渡ると云ふ一靑年あり、鑛山師連あり、成北に向ふの親方あり、二本條の御役人夫婦あり、種々雜多の連中は種々雜多の話題に航海の不聊を消し居候鑛山師の連中は盛んにウイスキーの滿をひいて今正に一攫千金の夢に淘然たり、金儲けもこうなれば氣樂千萬にて御座候（廿六日平壤丸にて）

七月號出でたり
幼年の友
おこぎばなし おやおやおや いろいろ
特別おみやげ 打拔二重人形 いろいろ
このほか
近戲唱歌お池の鯉
繪ばなし螢の提灯
幼年自然科學問答
お伽活動花子の巻
綴り繪紙園の祭禮
西洋繪新猫の姉妹
寫生圖畫沒草公園
今日歷史平家沒落
一冊十二錢郵稅五厘
東京市京橋區新肴町
實業之日本社

宮內省御用酒

天下逸品の灘釀
菊正宗
販賣店到る處にあり
朝鮮發賣元
合名會社 本嘉納商店
釜山倉庫部
（電話三一一番 振替京城二一七三番）

▲▲▲▲
成簣堂叢書第十篇新刊
▽▽▽▽
△△△△
五山僧天隱龍澤の抄本
學界の至寶と天下の珍籍
▼▼▼▼

本文五冊解題一冊
寫眞石版二度印刷
大和綴禮裝極淸雅
定價金五圓
郵稅十六錢

論語鈔

■例に依り五百部限り刊行、爾後絕對に再版せず■

本書の考證

論語は我國に傳來したる最初の經籍にして、我國文物の發達、風敎の稗補に貢獻し、道德思想上に及ぼしたる感化の重大なる、茲に更めて贅するを須たず。而して後醍醐帝の世に、新註の講ありし以來、古註と相竝びて一は明經家により、一は五山の僧侶により、各々其の古訓を繼承して德川氏の初めに及べり。今此の期間に於ける論語抄にして、重もなる傳來の珍籍を擧ぐれば、東京帝國圖書館所藏及び宮內省圖書寮所藏其他を合せて十種に出でず。茲に成簣堂叢書（德富文庫）第十篇として刊行したる『論語鈔』は、宮內省圖書寮所藏の中の一種と內容同種に屬し、之を兩書相比較するに成簣堂本は其の古雅の點に於て、其の抄寫の年代に於て、寧ろ原本とも見らるべく、若し否らずとするも、此種の抄本として無比の珍籍に屬す可きは、本社の信じて疑はざる所也。而して成簣堂本の天下擧觀たる所以は、本書の卷末にある識語より推して、五山僧侶の明星たる天隱龍澤の抄本と認定し得るに在り。

內容と價値

當時五山僧侶講筵の大分部が、詩文に重きを置きたるに係らず、此の四百五十年前の『論語鈔』の今日に存するは、全く神呵鬼護の賜にして、五山僧の儒敎解釋の代表的標本として頗る珍重す可し。此書の墨蹟は古雅淸高にして、懇切の訓點を附し、其の解釋は直截簡明、能く聖人の奧旨を發揮し、雲霧を披て靑天を視るが如く、以て五山僧の學識の超凡を窺知す可し。而して本書の印刷は、本社獨特の寫眞石版を以て、最上の日本紙に本文句點の儘二度刷となし、且つ嚴正の校合を爲して一點一劃の誤脫なきを期したり。別冊『論語抄解題』は、現代に於ける五山文學の大家、上村觀光氏の著述に係り、支那文物の渡來より、五山僧侶と文學との關係を論じ、本書の考證に及びて詳審精覈を極めたり。加之本書の首に挿入したる題簽は、井々竹添博士が特に本書の爲に揮毫せらる、所に係り、今や實に博士の絕筆となれり。本文五冊、解題一冊と合せて、天地間容易に獲難きの珍籍たり。一號より五百號に至る一々番號を記し、卷末に『成簣堂』の捺印を爲す等、體裁整然悉く例の如し。江湖好學の士は貢切れざる中速に注文あれ

大取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

帝國の對米交渉 支那內政干渉に關して

駐支米國公使ラインシュ氏が支那政府に交付せる警告書は黎元洪氏及び其一派に有力なる援助を與へ恰も內政干渉の如き觀ありて爲に米國が日本に對し支那に關しては何等の政治的野心を有せずと言明せる時と殆ど反對の觀あり。駐米佐藤大使は帝國政府の訓令の下に此の件に關し活動を開始しつゝあるが幷は米國が支那に於て以上の行動を開始したる理由の說明を求め同時に將來に對し一種の保障を得んと欲するものなり(東京特電)

日本、ヴ政府を承認

カイロ來電=日本は希臘ヴエネゼロ政府を承認せり(倫敦電報)

ク市民服從勸告

露國兵士勞働者會の決議文送致

十一日ペトログラード來電に曰く兵士勞働者代表者會はクロンスタット要塞及び波羅的艦隊にある兵士勞働者會議委員に宛て決議文を送致しクロンスタット市民は假政府の命令に迅速無條件にて服從せん事を勸告し若し之を拒絕せば彼等は革命民主々義を離れて無政府主義を招致するものなりと言へり(倫敦電報)

支那の形勢

三條件を各督軍に求む

張勳氏黎總統の要求聽容に對し

張勳氏は黎總統が要求を容れたるに就き軍隊を撤退する事、獨立を取消す事、中央に謝罪する事の三條件を各督軍に求むべしと(北京特電)

總統李氏の入京を促す

既電の如く伍廷芳氏は國會解散命令に副署を爲すべく脅迫され退出歸宅後直に辭表を提出せるが其の理由は國會解散は違法なれば副署する事能はずと謂ふにあり總統は之が爲め十一日夕刻秘書長夏壽康氏を天津に派し李經羲氏の入京を求めたり(北京特電)

米公使の總統訪問

十一日午後五時米國公使は伍廷芳氏の命令副署拒絕に關し黎總統を訪ひ密談せり(北京特電)

アラス北方形勢變化す

ヴヰミー、メッシネに於ける英軍の戰捷

西部司令部附路透通信員十一日の報告に曰くヴヰミー及びメッシネに於ける戰捷の結果アラス北方の形勢は全然其の趣を變じたり前記二個戰線は難攻不落と謂ふも不可なかるべしメッシネの戰に於て最も驚嘆すべき一事は殆んど語る可き程の戰闘なくして迅速に決勝的結果を齎らしたる事にして兵士等自身も同戰闘は彼等が前進せる前に砲兵及び工兵の力に依つて勝利を博したるものなりと思惟し各大隊は何れも死傷者を生せずして目的地點に達したり捕虜の數に依つて判斷するに敵の損害は平均數の割合を超過し驚く可き程多大なりしと(倫敦電報)

北鮮 ▲大邱▲ ▲聯隊長新任披露 新任步兵第八十聯隊長齋藤大佐は十……に亙り道會議室にて催さるゝ筈▲道府參事會議 北鮮內道府參……の件に就き……するところありたり▲……鮮人側衞生講話 大邱警察署は十二……於ては十一日午後二時より遊廓……樓主及び娼妓を集め大邱警察署……

特命大使公使臨時設置

十二日勅令を以て公布さる

十二日勅令第六十四號を以て特命全權大使又は特命全權公使臨時設置の件左の如く公布せられたり(東京特電)

勅令

特ニ重要ナル任務ヲ處辨スル爲メ外交官ヲ外國ニ派遣スルノ必要アル時ハ其ノ任務ノ終了ニ至ル迄ノ間臨時特命全權大使又ハ特命全權公使ヲ置ク事ヲ得在外公館費用條例ハ本俸ニ關スル規定ヲ除クノ外是ヲ前項ノ特命全權大使及ビ特命全權公使ニ適用セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年勅令第十一號ハ之ヲ廢止ス

輸出米消毒 好果

鮮米輸出米は雨期に入れる爲め今後虫除け消毒を爲す事とし十一日炭素瓦斯の揮發試驗を爲したるが成績極めて良好なり(元山特電)

阪谷西國公使來阪

十二日朝入洛の阪谷西班牙公使は桃山御陵を參拜し各名所を見物せる上來阪せり(大阪特電)

滿洲粟の輸入

米高の結果激進す

從來滿洲粟は鮮人常食の補充として輸入し近年米價の振はざるため其の入鮮多からざりしが近時米價異常の騰貴を告げたる結果之れが代用食料として各地一般多大の需要を喚起し相場の割高なるに拘はらず其の輸入額は米價の漸騰に隨伴して著しく激增し居れるが現に五月下旬鮮鐵扱ひの輸送數量は八百八十二噸の多額を算し今後依然米價の强保合若くば漸騰を續くるに於ては引續き輸入盛況を呈すべしと尚ほ主なる發送驛並に數量左の如し

發驛	噸數	著驛	噸數
四平街	三七八	南大門	二七〇
雙廟子	一四一	大田	一八〇
遼陽	一三八	群山	一六三
海城	一〇一	金泉	八一

學校組合會議

第一回の新議員會議

京城學校組合會議員の改選も已に終了し近日中には確定する筈に付來る二十日前後に新議員第一回の組合會議を開催し先づ議員の席次を決定し定期學校組合會計檢査の爲め檢査委員の選任を行ひ二三の議案を附議する筈なり

仁川學議初會議

既報の如く仁川學校組合初會議は十二日午後一時より開會與那嶺府尹より組合會議員改選後初會議に關する簡單なる挨拶ありて開會を宣し例に依り抽籤を以て議席を左の如く定めたり

一番稻田勝彥▲二番大石季吉▲三番淺松太郎▲四番川添三次▲五番北島征二▲六番後藤連平▲七番白神壽一▲八番松田耕作▲九番谷野文之進▲十番伴義敏▲十一番坂倉伊平▲十二番高木助市▲十三番平山松太郎▲十四番和田友太郎

出席議員は目下新義州出張中なる和田友太郎氏を除く外全部にて議席定まるや議案第十九號寄附金品採納に關する件を附議、夫れより稻田氏は米豆取引所より現在の營業狀態を持續する限り一期に金二千五百圓を寄附する件に對し當事者に鄭重なる感謝の意を表せられたしとの希望を述べ之れに對し坂倉氏は贊成をなし且つ本會の決議を以て感謝狀を送られては如何との動議を提出し二三問答の後可決、次に第二十號議案仁川加藤?小學校建築積立金五千圓に對しても多少の波瀾を見たるも原案通り可決續いて第二十二號處分事件委任に關する件中寄附金品受領に關する分は管理者に委任する事と爲たるも組合費及び使用料減免に關する分は後藤、稻田、白神其他の反對意見出で結局管理者は之を撤回して議事を終り更に引續いて會計檢查委員の選舉を行ひ坂倉、白神、稻田の三氏當選し次に議事錄署名委員としては議長の指名に依り平山、稻田の兩氏當選し午後四時終了したり

鮮鐵荷動旬報

米大豆雜穀石炭荷動盛況

前年に比し三割七分增收

五月下旬に於ける鮮鐵の荷動狀態を見るに發送噸數七萬二百三十四噸收入十九萬七千四百四十八圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て一萬千九百十四噸(二割)收入に於て五萬三千百七十九圓(三割七分)の增加に當れり本旬中出荷の主なるものを揭ぐれば次の如し

品目	噸數	品目	噸數
石炭	一〇、五五三	鹽干魚	一、二六一
米	八、一二四	黑鉛	九五三
木材	四、八七六	肥料	五九一
雜穀	四、三九六	叺	五七五
大豆	三、九三三	木炭	五一九
豆粕	三、四六二	薪	四四七
鹽	一、八〇〇	明太魚	三一一
[illegible]	一、六五二		

次に前年同期に比し增減(△)の著しきものを擧ぐれば左の如し

品目	增減噸數	品目	增減噸數
雜穀	三、〇五六	鹽	△五六四
大豆	二、五五五	黑鉛	四八二
米	二、一三三	鮮魚	△三九六
石炭	二、〇二六	鑛石	△三四三
木材	△七四七	繩叺	三四一
豆粕	七二四	肥料	三〇四

主要貨物の出荷概況次の如し

▲石炭 荷動依然衰へず殊に本旬に入りては鎭南浦發平壤鑛業所入り內地炭の輸送さるゝありて出荷盛況を呈し總數一萬餘噸に達せり之が主なる發驛別數量を示せば平壤鑛業所發無烟炭四千六百七十三噸安東發撫順炭四千百十八噸鎭南浦發內地炭九百十七噸新安州發無烟炭百八十噸等にして前年に比し二千二十六噸の增加を示せるは主として前記鎭南浦發內地炭の新規輸送始まりしに由るもの、外安東發撫順炭の出荷好況にて前年に比し七百九十八噸を增加せしがためにして平壤鑛業所發無烟炭の出荷數は前年に比し大差なし

▲米 米價は上旬以來强氣配なりしが月末に及んで著しく昂騰し鮮米商狀活況を呈し荷動漸く增加し元山經由浦鹽行露國輸出米と併せて總數八千百二十四噸を算せり就中元山著二千三噸最も多く次は釜山著二千二百七噸にして群山著九百六十三噸南大門著七百六十一噸仁川著二百十噸木浦著二百七噸等相踵ぐ尙ほ咸鏡行は百九十四噸を輸出したり

▲木材 前旬に引續き荷動き好況なりしが前年に比すれば僅に七百四十七噸の減少を示せり依然新義州發最も多く千八百六十八噸を出荷せり其他安東縣四百八十三噸釜山發三百四十七噸を始め新安州、白馬、群山、元山等より相當出荷ありたり

▲雜穀 荷動益々活況を呈し前年に比し三千五十六噸を激增し一日平均四百噸の出荷に當り主要貨物中第四位を占むるに至れり總數四千三百九十六噸中粟最も多く他は小麥、黍、小豆等を主なるものとす是が發驛別數量を示せば次の如し

發驛	噸數	發驛	噸數
沙里院	六四六	興水	一三六
平壤	六四二	鎭南浦	一一八
安東	三二八	元山	一一七
南大門	一六五	東倭館	八七

▲大豆 本旬に入り釜山打切扱不振なりしため前旬に比し八百一噸を減じたるも前年に比すれば猶二千五百五十九噸の激增を示せり總數三千九百三十三噸中內地直通扱三千六百五十七噸釜山打切扱百八十一噸とす

▲鹽 一般需要期を過ぎたるがために從ひ荷動漸次減退せるも元山行鮮魚用の需要ありて出荷數千噸を維持し居れり總數千百五十二噸中元山著は僅に四百四十六噸仁川發三百五十噸計七百九十六噸(四割八分)なり

要之本旬の貨物運輸は前旬に引續き好況を呈し大豆を除きては各品共增加を示し更に之を前年に比較するときは石炭を始め米豆雜穀等荷動頗る旺盛なりしと滿洲粟の輸送盛況なりし等の爲め收入に於て三割七分を增收し得たり

當選議員の注意

京城學校組合會議員の選舉が已に終了し當選者石川其三氏へは十日其の他十七名の當選者へは九日中に夫々管理者より當選告知を發送せるが若し當選者にして當選を辭せんとする時は當選の告知を受けたる日より五日以內に辭任を管理者に申出でたる場合は議員缺員の補缺選舉を執行すべき規定なるが之れと同時に選舉人側に於て選舉の規定に違反の事實ありたりと認むる時は當選者定まりたる日より五日以內に其の事由を道長官に申出で選舉又は當選取消の處分を求むる事を得るものなり即ち今組合施行規則中必要なる部分を抄錄して參考とすべし

第十九條 當選者定まりたる時は管理者は直に當選者に當選の旨を告知すべし 當選者當選を辭せんとする時は當選の告知を受けたる日より五日以內に之を管理者に申出づべし

第二十條 選舉の規定に違反の事實ある時は選舉の結果に異動を生ずる虞れある場合に限り道長官は選舉又は當選を取消すべし 選舉人は選舉の規定に違反の事實ありたりと認むる時は當選者定まりたる日より五日以內に其の事由を道長官に申立て前項の處分を求むる事を得

京畿米檢成績

客月中京畿道管內仁川穀物協會及び平澤米穀同業組合に於て擧行せる米穀檢查は檢查總數玄米四萬三千八百二十一叺中白三百七十二叺なりしが檢查の結果は優等七百七十叺上格玄米一萬一千三百卅七叺下格玄米三萬一千三百五十五叺中白三百七十二叺なるが中輸移出道外搬出禁止せしもの玄米四百二十九叺あり而して檢查從業者延人員三百四十五人にして玄米下格の原因は夾雜物過多に依り又中白下格は包裝不良なるに因れりと

磯永一等主計出張

龍山に於て來る十九日より開會の陸軍支庫長會議及び計理會議に出席すべき釜山陸軍支庫長磯永一等主計は十七日午後十一時發列車にて出張の筈なり(釜山)

原田朝郵社長歸京

日本郵船取締役會並に株主總會に列席のため東上中なりし原田朝郵社長は十三日朝南大門驛著歸任すべし

產業視察團來鮮

岡山縣々會議員及び同縣技師等の朝鮮產業視察團々長高草善作氏外六名の一行は十一日午前入港連絡船さくら丸にて來鮮直ちに釜山商業會議所朝鮮水產組合等を歷訪して調查を爲し正午發列車にて大邱に趣き水原を經て十二日京城に入り同地より各方面の視察を爲す由なり(釜山)

棉花蘇生

全羅南道地方にては十二日午前二時三十分頃より微雨あり挿秧には尙不充分なるも二旬に近き晴天續きの爲め萎縮したる陸地棉は此の雨により適當の潤ひを得て恰かも蘇生の觀ある旨木浦出張局より總督府に電報ありしと

植林苗木品評成績

京畿道にて本春施行したる第五回苗木品評會は各郡に於て先づ其の管內植林苗圃生產苗木に就き豫察審查を遂行せしめ而して其の結果三等以上該當するものの總計二百四十三點を道に於て微し比較品評せるが其の結果入賞したる一等十二點二等二十五點三等六十五點にして是等入賞者に對しては其々褒狀又は賞品を授與したり

鮮銀券發行週報

六月三日より九日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は三千八百二十九萬八千七百三十七圓なり

單獨休戰拒絕發表

東部戰場獨逸軍司令官の勸誘

露都來電に曰く兵士代表者會議は東部戰場獨逸軍司令官が無線電信を以て單獨休戰を行ひ遂に豫備會議を開始せん事を勸誘したる事實を公にし同時に右の勸誘を拒絕せる旨を發表せり(紐育電報)

佛國庫債券引受決定

調節に關しては佛國政府と交渉中

佛國政府國庫債券五千萬圓引受に關し十一日午前十一時より東京及び大阪の各シンジケート銀行團は日本銀行に會合協議の結果愈々佛國の爲めに公債發行引受を爲すことに決定し之が調節に關しては目下佛國政府と電報にて交渉中なるが引受條件は一、額面五千萬圓一、期限三年一、利率年六分一、發行額面百圓一、拂込七月後二回にして通は注文品の代金支拂に充つるものなり尙引受銀行は正金銀行外十七銀行にて臺灣朝鮮兩銀行も加入せり(東京特電)

人事消息

▲菅田勇氏(稅務局京畿道出張所長) 十一日夜入京浦尾へ

▲深川傳次郎氏(新義州府尹) 十二日朝入京同上

▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商議會頭) 十二日夜入京同上

▲矢島音次氏(黃海道第二部長) 同上

▲津田梧樓氏(釜山辯護士) 十二日夜退京

南言北話

故キッチナー元帥が生きて居ると云ふ評判がある▲其の噂の火元は故元帥の副官であつた一人が此程紐育の或女教師の許へ送つた端書からだ▲其の文面によると去年の六月にハンプシア號と共に溺死したと傳へられたキッチナー元帥が▲今現に獨逸に在る英國捕虜の中に居ると云ふ事をお聞きになつたら嘸吃驚なさるでせう併し夫は事實です▲とあつて而も其れが立派に檢閲濟みとなつて居るとは聊か處か大に意外だ▲而し乍ら虛言か眞言か受合は出來ぬが兎に角近來大に人目を惹く問題だ▲天下の珍品寶物の持主赤星家の藏品入札は非常に好事家の注意を引いて▲下見の時などは連日四千から五千の來觀者が押かけた相な▲京都大阪名古屋は勿論西は九州加賀越中邊からワザ／＼上京、見物に來た好事家もあつたと云ふが▲愈入札となつて見ると梁楷の野中山水が夕ッタ一幅で二十一萬圓とは驚く▲其れが堅三尺六寸五分幅一尺六寸五分のもので差程の大軸でもない▲最初の評判では十五萬圓を何れ位突破するのだろうとの事であつたが二十一萬圓はチト意外▲而し之れで梁楷の眞價が出た譯になるから梁楷の所有者は何れもホク／＼者だろう▲何にしろ總賣上高約四百萬圓とは日本も却々貧乏者計りぢやない▲お茶碗一つが八萬二千圓と來ちやイヤになつて來る

鑛業講習錄

本校は最新式通信教授に因て鑛業技手及び鑛務係を養成し目下缺員に苦しむ斯界に就職紹介するを目的とす

校則往復はがきにて申込あれ ◎東京神田區仲猿樂町 大日本通信鑛山學校

大町桂月先生曰く『手紙上手は一生の德である』

假名の讀める者なら誰れでも短日月で上手となれる樣手紙の秘訣を分りやすく親切に說明せる(速成手紙文講習錄)の內容見本進呈す。東京市牛込高田馬場 手紙研究會へ見本附會則送れとハガキで申込めば直ぐ送る ◎會員は大町桂月先生に手紙文の添削を受る特典あり

在庫豐富 迅速確實

英國サミールオスボン製鋼會社關東代理店 英國アーサーバルフオーア製鋼會社特約店

東京市神田區東紺屋町一番地

井口鋼鐵商店

歐米鋼鐵、獨國產鋼各種

電話神田四四九、六七九 振替口座東京二四二八一番

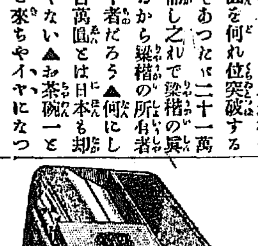
家庭實用 組合理髮器 定價 並製一圓七十錢 特製三圓 上製二圓六十錢 送料內地十八錢

堅牢優美鏡付箱入 ▲バリカン附屬刃附 ▲剃刀 ▲ヒゲブラシ ▲粉トキ器 ▲フケカキ ▲耳搔 ▲耳掃除器

理髮器の革命兒現わる

品質本位 有益品なれば飛ぶ樣に賣れる 衛生と經濟を重んずる方に是非御愛用をお勸め致します

東京市神田區三河町二ノ十 振替口座東京參五六壹壹 發賣元 光賞堂



名古屋發明會社一手販賣 蠅取器 金參圓卅錢

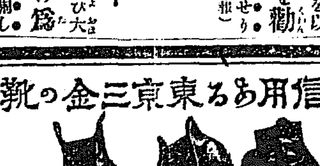
□柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント □魔法瓶及中瓶取替 □其他旅行用具一切

京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

繪絹 ぬめ 各種 紐類

京城明治町筋 尾琴屋 電話一三五九番

信用ある東京三金の靴



ボックス革製編上靴 第一號金三圓五十錢 第二號金四圓五十錢 第三號金五圓五十錢 第四號金六圓五十錢

ボックス革製變化靴 第一號金三圓五十錢 第二號金四圓五十錢 第三號金五圓五十錢 第四號金六圓五十錢

ボックス革製深ゴム靴 第一號金四圓五十錢 第二號金五圓五十錢 第三號金六圓五十錢 第四號金七圓五十錢

寸法見本付目錄用紙 送呈

以上の靴は一均一精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適品なり 御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包にて送料當方負擔にて送附す

東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇番・振替東京七壹壹參番

玩具卸商 織田東洋館 薄利多賣出荷迅速は弊店の特色

京城本町一丁目 電話二六九八番 振替京城二五六七番

[illegible]て新任披露の爲め盛宴を催すべし▲[illegible]府尹郡守[illegible]司會 慶北管内府尹郡守[illegible]司會議は來る二十六日より三日間

●人[illegible]員會●[illegible]在郷軍人分會は十一[illegible]午後八時より上町集會所に於て評議員會を催し[illegible]武館道場開き

[illegible]が更に十四日は東本町區長宅に於て[illegible]●同く衞生講話會を開くべしと▲修養講話▲遊廓● 大邱遊廓組合事務所に[illegible]水源地の浚改修 大邱上水道水源地附近は浚渫川水の不足を告ぐるに至るを以て之れを補はん爲め浚の改れ[illegible]

[illegible]三氏を隨へ十一日高瀬に出[illegible]▲慶北二部長入京 慶北第二部長[illegible]氏は十一日午後一時

●木浦先月金融

月中以來米價は高騰の趨勢を示し日を經るに從れ益々騰し月末に至りては下級米十八圓を唱へ之を月前に比すれば實に五圓方の暴騰なり斯[illegible]たるも地場の商況は相當に活況にして月末に至りては[illegible]米穀充として碎米、粟の移入を見るに至れり海藻は出廻期に入り月末迄に約十五萬斤の到著を見たが常年は豫氣[illegible]旁々一般に不良なりしも安[illegible]許相場は幾分割高なるより販賣者[illegible]附加せるもの[illegible]

[illegible]へ不[illegible]きつゝあり之を要するに當月の金融は月中[illegible]用米の大口輸出、東拓殖の大口買付海藻の取引等により當資金の移動を見たるも棉花資金は愈々終熄し移出米界亦靜調を保てる事とて格別新資金の需要を見ず金融緩慢に趨月せり金融の大勢に順應し當所は當月初より[illegible]

より十四日迄毎夜八時より[illegible]を[illegible]十三日は婦人會の爲め午後二時より同上[illegible]演あり米粒名號施本等の配布を爲す由

●金鯱城頭 朝霧を破る皇禮砲裡に

李王殿下名古屋御出發

縣下の特産品數點を御買上げ

緑蔭滴る名古屋離宮に一夜の御駕を駐めさせ給へる李王殿下には長途の御旅行に些の御疲勞さへ見えさせ給はず十二日午前六時早くも御寢所を出で翠色滴る園内の景色を御賞覽侍臣女官を御召の上種々の御物語あり朝餐を認めたる上長谷川總督伊藤式部次長及び隨員に謁を賜ひ七時三十分御出門四臺の自動車を連ねて諸列軍隊並に市民の奉送を受けさせられつゝ名古屋驛に御著先著の王世子殿下に御對顏大庭第三師團長以下多數の文武百官御見送りの裡に御乘車あり八時朝霧を破る皇禮砲裡に御東上相成りたり尚殿下には十一日離宮内陳列の愛知縣下の特産品數點を御買上げ相成りたり（名古屋特派員高賀貞雄發電）

□海陸五百里御恙なく

東京御安著

些の御疲勞もあらせず御健けく

盛んなる官民の奉迎

梅雨雲重く空を壓して李王殿下の御入京を悦び迎ふる煙火の音十二日の夕の街々に響き渡る頃東京驛の歩廊は塵の影も止めぬ迄に洒掃され驛の支柱は總て黒白段だらの布にて捲かれ天井には國旗を美しく綴り違へに張り渡し萬般の裝飾眼も醒むる計りなり驛頭には久邇宮、朝香宮、東久邇宮三殿下を始め奉り各元帥寺内首相以下各大臣、樞密顧問官陸海軍將星、貴衆兩院議員、府市名譽職、宮内省高官等文武官民一千餘名出迎へ奉る中に

午後五時御召列車は徐々として

第四番ホームに入り來り靜かに止まると見れば接伴委員長伊藤博邦公恭しく扉を開き參らするや李王殿下には陸軍大將の軍服を召され佩劍を杖に車より降立たせ給ふ殿下には長途の御旅勞も見えず御健けさ金縁の目鏡をかけさせ、にこやかなる笑をさへ含ませられつゝ三宮殿下と互に溫かき握手を交はさせらるゝや途中迄御出迎の王世子殿下も共の後より三殿下に御會釋あり次で李王殿下は寺内首相以下の奉迎諸員に一々懇ろなる御會釋あり伊藤公、高橋驛長の先導にて御車寄に御步を運ばせらるれば煙火の音又一切り高し斯くて驛正面車寄せより奉迎の各員に擧手の禮を爲しつゝ伊藤接伴委員長閔李王職長官の

陪乘にて宮中より御差し廻しの

御馬車にて靜々と橢圓形の石階を降りさせらるゝや驛正面に堵列せる儀仗部隊より君ケ代の喇叭の音高く響き渡り軈て御馬車の前後は中隊長の指揮する近衞騎兵五十騎に前後を衞られ靜々と進み行く事一町近衞騎兵聯隊の後方に堵列せる在留朝鮮人男女數百名の一團より萬歲の聲高く起る此の時殿下には輕く會釋を賜ひ尚ほ仁田原近衞師團長の指揮する近衞師團司令部步兵第一旅團第一個聯隊、第一師團步兵、砲兵一個聯隊、同輜重兵大隊の整列沿道十數町の間に堵列せるに對し擧手の禮を爲して進まるれば參謀本部前に

堵列せる近衞步兵一個中隊より

發する二十一發の皇禮砲殷々として天地を震撼す、斯て行列は堀端に沿ひて馬場先門跡を入り祝田町四街道を左へ霞ケ關離宮に著せられ宮内省諸官の奉迎を受けさせられつゝ御居間に入られ御少憩の後長谷川總督其の他の伺候を受けさせられ六時晩餐に朝鮮料理を召されたる後御近侍に種々の御物語あり九時寢室に入らせられたり（於東京特派員高賀貞雄發電）

□富士の靈峰

殿下の御平安を祈のるにも似つ

車中王世子との御歡談盡きせず

李王殿下には沿道官民の歡迎を受けさせられつゝ御東上相成りたるが今列車中の模樣を承はるに殿下には江尻海岸の絶勝を右に眺めさせらるゝに王世子殿下と母國の風光明媚なる事等に就きて數々の御歡談盡きず殊に沼津に近づくにつれて富士の秀峰に雲徂徠する景色を御嘆賞あり又歸途御立寄り相成るべき三島御別邸の御滯在を樂しませられたるやに承はる（於東京特派員高賀貞雄發電）

●善美を盡せる

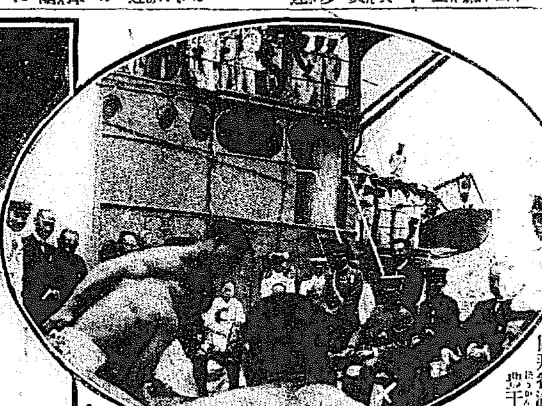
霞ヶ關離宮

特に篤き思召にて

今回李王殿下御東上に就き宮内省の設備は用意周到にて善美を盡したるが取分け御旅館は最初芝離宮の御用邸なりしを特に篤き思召に依りて霞ヶ關離宮に御變更相成りたる次第にて快麗なる洋式建築の宮殿の五間を殿下の御用に供し特に食堂には朝鮮式の調理場を新設して殿下日常の御生活に御不自由なきを期し寢室には特に洋式寢臺を廢して朝鮮風の錦糸の繡造式羽蒲團の厚きを新調し參らせたるは又以上の主旨に依たる御沙汰に依てなりと（於東京特派員高賀貞雄發電）

●大染料鑛區を發見す

鐵原の久保某は同驛より西二里の小山にて一大染料鑛區を發見し久原にて分析の結果品質優良なる事認められたり（元山特電）



■粱楷雪中山水（竪三尺六寸五分巾一尺六寸五分）（表裝）一文字風帶茶地古金襴、中紺地二重蔓古金襴、上下金地二重蔓古金襴

●廿一萬圓の粱楷雪中山水

東都骨董界の記錄を破りし

赤星家藏品の大入札

東都骨董界の記錄破りとして斯界人氣の焦點となつた赤星家藏品大入札は十二日午前三時漸く全部の開札を終り

▲其總賣上高は實に三百九十三萬八千七百二十四圓に達し呼物の粱楷雪中山水は二十一萬圓の高價にて團琢磨氏の手に入り馬麟布袋双幅は十三萬三千圓にて北海道の炭山に關係ある某實業家の手に收むる處となり、元信龍は勝田銀次郎氏に、金岡那智瀧は根津嘉一郎氏に、元信[illegible]寒山拾得の双幅は藤田男の手に落ちたり五萬圓以上のもの左の如し

▲粱楷雪中山水二十一萬圓 馬麟布袋双幅十三萬三千圓 ▲元信龍十萬五千圓 名物猿若茶入十二萬圓 黒ノンカウ升七種物の内六萬七千圓▲利休尺八茶入八萬六千圓▲俊頼古今和歌集序八萬二千圓▲行成和漢朗詠集八萬圓▲名物青井戸茶碗八萬二千圓▲元信寒山拾得五萬六千圓▲青磁桔梗香盒六萬六千圓▲天目茶碗八萬圓▲金岡那智瀧八萬五千六百圓▲利休茶入七萬七千圓▲蒔繪料紙硯箱五萬七千圓

赤星家次回の入札第二回を十月八日第三回を同十三日行ふ由にて出品總數一萬二千點なり（東京特電）

●李王殿下『肥前』艦上第一步（左）（右艦上餘興水兵角力の御觀覽（×長谷川總督）…山崎特派員撮影

●盜伐事件起訴

三井金剛山盜伐事件に付き十二日檢事は村田以下を起訴せるが公判期日は未定なりと（元山特電）

●恐ろしい復讐

家を燒き里民を傷く

全南羅州郡細枝面梧山里農曹得煥（二五）は先頃賀石姿（二四）が自殺を遂げしは其の原因同里の李俊煥（三六）と喧嘩の際侮辱せられたるものと誤信し之れが復讐の爲めと稱し六月一日午前五時頃妻洪有卜（三五）諸共に俊煥方に至り棍棒にて俊煥を亂打し殺害すべしと威嚇したるより俊煥は逃亡したり其の跡にて得煥は俊煥方に放火し火煙中より同家の雇人金貴彦が家財を持出さんとせしを庖丁を以て追ひ廻し消防の爲め馳付けし里民に對しても同樣迫害して遂に現金三百圓住家一棟家財全部を烏有に歸せしめ損害合計四百十一圓餘を蒙らせたるを榮山浦憲兵分隊にて探知し得煥夫妻を逮捕して目下取調中

●猪の身代りとなる

黄海道平山郡山嘉里農李京祚（三三）は野猪捕獲の爲洪峙谷と稱する山谿に罠を掛け置きしに五月三十日草刈りに赴きたる同里の李長權（三三）が件の罠に引つ懸りて左脚部に重傷を負ひ出血多量なりし爲め同人は遂に絶命し居るを發見し一方李京祚は南川警察署に引致取調べの上檢事局へ送られたり

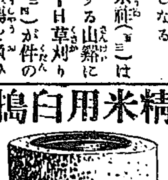
●中央大學へ見舞

這般東京神田錦町なる中央大學燒失に付き在京城同校出身者縁故者一同は幹事の手元より直ちに見舞の電報を發送したるが同校出身者にして目下京城に在るものは約五十名なりと

▲これまで全國の中學校以上の發火演習では實彈も空砲もみな東京砲兵工廠から取り寄せることになつてゐた▲しかし京城の如きでは一發の彈代よりも運賃の方が高くかゝるので非常に困つてゐたがこんどはいよ〳〵在郷軍人とに係例が出た▲尤もこれは這回京城中學校が率先して申し出た結果であつて『此の秋からは大に撃てるぞ！』と岡村教官が虎髯をひねつてゐる▲鐵砲といへば京城中學の可愛い一年生の日記に曰く『僕等は鴨緑江の第一線にでも立つんだから日々の教練をきついとは思はぬ…』と▲この意氣だ〳〵とまたしても岡村先生が虎髯をひねる▲咸興のある宿屋にさる中將閣下と少將閣下が一泊されたところ御馳走も夜具も同じものながらさて勘定には一泊四圓と三圓、一圓の相違がある▲念の爲め帳場の間違ひかと訊ねて見ると亭主といふのが額を押へて『手前どもでは旦那方の肩章によつて頂きまするへエ……』▲これは旭町あたりの去る勸め人、内地から來た下女に留守を頼むで旅行して歸るとお三どんの曰く▲『此の瓦斯チウものは便利でござんす旦那樣が出さつしやつてからまだ此の通り火がついてゐますだハア……』

蠶繭 生糸、屑物 高價買入 龍山漢江通八番地 **河原繭糸店** 電話長四二一番

移轉と分院開設 明治町佛蘭西教會坂下（明治町入口） ドクトル 女醫 **中村齒科醫院**（電話一五八三番） 黄金町二丁目（藤原京城支店前） **中村齒科分院**（電話一八九番）



精米用臼搗 鳴門石製 精米 水車 足踏用 ナゲ各種搗臼は本御影石に限る鳴門石に及は少なく白上りよし御申込次第詳報す ▲製粉用搗臼も製造販賣 引白磁製陶杵先 大阪市北區上福島一丁目 製臼元祖 **砂川製臼所**

京日案内 普通一回前金五十錢 番外一回前金 ▲申込後中途廢止の節は前金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信料同封の事 ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

▼藥劑書 ▲受驗者に讓り度し 姓名在社 135

●代診生及看護婦 資格有無共 至急募集履歷書送附の事 平壤壽町 石川病院 138

●下宿を讓る 市内にて有望の場所 歸國のため至急讓る 姓名在社 137

●融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 京城大和町三の三武（栖澤前）起木屋 136

●代診一名技工一名至急入用希望者面談 長谷川町 シメノウチ齒科醫院 127

●信用貸 金大口底利迅速秘貸出 市内担保貸 取扱來店又參上 黄金町一ノ一九三 朝鮮ホテル左金谷園横 拍屋

●紙漉人及紙張人數名募集す 京城義州通り一丁目川端 漢芹洞九十番地 京城製紙工場 119

番外

種兎外衞生試驗用動物販賣 價格表申込次第送附す兎高價買入 京城太平通二丁目 衞生社動物部 134

回 **配達人入用** 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 黄金町二丁目 **京城新聞社** 139

給仕募集 高等小學校卒業程度の者履歷書携帶本人來談あれ 黄金町二丁目（電話一三五六） 有償生命朝鮮支部 132

●**はねつぎ** うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 **柔術道場** 59

賃乘合 **自働車** 片道四圓 京城驛前八時 春川發午前八時 ●京城水標橋通り 電話二一三八番 ●春川 京春自働車商會 松田壽男 72

⦿ 名種 **ブラシ** 製造販賣 京城明治町二丁目 **東洋ブラシ商會** 103

恩給年金立替 短期無保險 即時取引 利子極安 京城若草町一ー番 電話二三九一番（金光教裏手） **國江商會** 1[illegible]0

流行の 惡疫諸病 梅雨期 品質本位 藥効偉大の 一番よくきく 模範的懷中良薬

守田寶丹を

今より缺さず用意なし

執務に外出に旅行に家庭に

氣分惡き時一匙二匙服用せば 惡疫萬病を未發に防ぎ 胃腸を健全に精神を爽快にし

梅雨も土用も無病健全

▲何と云つても▼ 一番よくきく藥効本位の懷中藥は

起死回生 **守田寶丹** 唯一あるのみ

▲頭痛▲眩暈▲船車酒の醉▲氣附毒消▲中暑水傷▲寢冷吐瀉▲過飮過食▲下痢腹痛▲惡疫諸病

定價 金十錢 金廿錢 金卅錢 金五十錢 金一圓 三十錢以上は優美なる寶丹匙を添ふ

東京下谷池之端仲町 寶丹本舖 十二世守田治兵衞 振替東京二九八五 （各藥店にあり）

花筐（はながたみ）

松田竹の島人作

（二四）

田淵は、棚に絡み付いた藤に比喩へて、憫れみを乞ふやうな京子の言葉で、今では充分に、自分を頼つてゐる其心を知ると、自分の戀は最う十中の八九までは爲し遂げられると思つた。

波打際から、四五間隔つて、爪先上りに爲つてゐる砂地には、緑の柔かい草が生ひて、青い絨氈でも敷いたやうであつた。

田淵は、ざくり／＼と砂地を踏みつゝ緩歩して草の方へ往くと、京子も蹤から跟いて往く。

軈て田淵は、草の上へ往くと、羽

織の裾をくるりと捲つて、腰を卸した。

京子は瞥視と見て、

「其麼ところに御腰を卸して、御著衣が穢れるぢやありませんか。」と窘めた。

田淵は、慈う叱言を言はれたことが、言ひ知れぬ嬉しさを覺ゑた。何故ならば、妻としての京子が、夫としての自分を窘めるやうな心持が爲たからであつた。

「其麼綺麗な草ですもの、何麼穢れるもんですか、貴女も此處に御休みなさい。」

「大丈夫穢れませんか？。」

「穢れませんとも。」

京子は、田淵と並で腰を卸した。

海の彼方には、漁船が點々として遠く沖の方には、白帆が飛の浮ぶやうで、そして雲烟漂渺の間、伊豆の大島が夢の如く淡く見ゐる。

「ねゑ田淵さん、此頃市野は甚麼樣動ですか、妾が無斷で家出を爲たから、幾らか謹愼するやうですか、それとも尚且遊興ぶのですか？。」

京子が沈んだ調子で訊くと、田淵は鼻下の髭を捻りつゝ、

「市野君には實に呆れてしまひました。」

「什麼してヾす？」

「什麼してヾもありません。貴女があんな書簡を遺つて、妾を御隱しに爲つたのですから、情のある人ならば、心配して貴女を捜索すべきが本來ですが、平氣なもんで寧ろ厄介拂ひを爲たといふやうな風ですからね。」

「其麼ですか。」

京子は呆れて、清しい眼を睜る。

「花枝は、別に變りないでせうか」

「至極御健康で、例に依つて幼稚園に通つて居られます。」

「定めて妾に逢ひたがつてゐるでせうね。」

「ところがです。御母樣のおの字も言はれないで頗る平氣なもんです。」

「彼の兒までが其麼ですか。」

京子は、左の手を額に當て、蕭然と首を垂れた。

「何れ市野君や乳母が、花枝さんに貴女を惡るい人だつて言ひ聞かせたのでせう。子供は正直なものですから、それを本氣にして、貴女のことを何んとも思はなく爲られたものでせう。」

「市野も市野なら、乳母も乳母ですわねゑ」と京子は口惜しさうに、柳の眉を昂げる。

「貴女が別莊に居らつしやらなくなつたもんですから、御小間使の豐は東京へ歸つて來たでせう。其噺に由ると、驚くぢやありませんか、彌吉老爺の例の女ですね。市野君は彼れを別莊へ入れて、妾見たやうに爲て居られるさうです」

「あんな醜業婦上げ句の婦人をね。」

「什麼も市野君の心理狀態が、僕には些とも解りません。貴女は市野君に取つては、普通の妻君でなく、恩師たる石島先生から、特に妻として下すつたのだから、市野君が先生の御恩を思ふならば、從つて其御令孃たる貴女を良く爲なけりやならんでせう。ところが、貴女が、衷悄を吐露されたあんな悲痛な書簡を遺つて家出されても、更に反省する擧動もなく、其儘に放棄して、自分は庭掃除夫風情の女を妾に爲るなんて、實に唾棄すべき人ぢやありませんか。」

花柳病　皮膚病　須古醫院　京城府明治町二ノ三二（元貨菜合社跡）電話二一〇二番

一日一句

山の片ツぺら連れ立ち桃に江見し　静軒
餘花の雨霽れて日蔭し石鳥居　浩一郎
社建つる地搗案櫻のゆれ　白紅
青葉となりし連翹や雨頻り　湖東
菜の花を教室に蝶の迷ひ來し　案山子
諸聞ゆ聊か雨ある宵の春　白紅
しふく書窓に花しきりなる　魚骨
座敷觸御廊下に手をつく　黄丘
籠鳥の春日したしみ軒うらゝ　瀬村

◎京城俳句會

第六回―大正六、六、九―

蚊遣

蚊遣すや柱只太き朝鮮家　耕伯
蚊遣すや火鉢となりし古斗桝　同
山に湧く夜風蚊遣の草に吹く　青丘
萎へし酣醋に浮く蚊遣かな　同
土に泌む雨靜けさや蚊火暗し　草緑
遺蚊火の端末に住みて庭師かな　同
蚊遣火の漁家、濱風つのりけり　俚人
上る月のさやけさや蚊をいよす　東村
蚊遣すや爽主呼出して庭の人　竹水
蚊火焚いて俳俗となりにけり　橙黄子

苺

草苺熟れたり窓を開けて讀む　田打夫
洋館にゐる犬猛き苺かな　同
山冷への卓や苺の皿白し　俚人
人乘せて草喰ふ馬や蛇苺　竹水
木苺や國の底なる谷の橋　東村
木苺に雨はれし後を旅人かな　橙黄子

新刊紹介

▲育兒通信（六月號）入梅頃の乳兒の扱方（懸羽博士）小兒の腸を冒す病氣（瀬川博士）生れてから三十箇月迄（竹內醫學士）お産の時は斯ふしてするもの（木下博士）乳保育の一番難しい時（磐川醫學士）等育兒に關する各種の有益なる讀物及婦人生活其他の記事を收む（十五錢東京小石川區林町五七共社）

▲近世實錄全書の豫約　講談筆記の源泉たる實錄物は史傳的知識の普及機關として一般家庭の好讀物たり然るに其原本は今や容易に見難きに至りたるを早稻田大學にては多年に亘り蒐集したる徳川初期より明治廿年代までの實錄物の殆ど全部を集めて廿冊となし豫約發行を企てたり見本は同大學出版部より送呈すと

▲講談雜誌（武士さ町人號）創業三十週年記念增大號にして五十頁乃至百頁に亘る一流諸家の長篇讀物六篇の外新講談落語等數篇を收む（二十四錢東京日本橋博文館）

▲ホトトギス（六月號）高濱虚子の進むべき俳句の道及漱石氏を私の引續き掲載せる外帝大、高商、慶應、東京地方の俳句界、月並研究其他（二十七錢東京牛込船河原町共社）

▲帝國青年（六月號）歐洲戰爭の精神的觀察（阪谷男）偉人の少年時代、白石正邦、中堅青年の養成（田澤義鋪）其他精神修養上の好讀物（十二錢東京麴町內幸町一の四共會）

▲フレンド（十月號）扉式の表紙を左右に開くと淺草の賑やかな場面が現はれ頁を繰るに從つてボンチ繪、歷史噺、お伽噺などが次から次へ（十二錢東京赤坂區青山町共社）

▲日本幼年（七月號）七夕、川開き、ナオーミーシユートなどの美しい畫噺しにポンチお伽噺、譯噺などの讀物多々（十二錢東京京橋區々橋彌町一東京社）

▲木太刀（六月號）佐々醒雪の辻占の話、岡本綺堂の香字穂夜話、久保田世音の選註俳句、圖解及夏季課題數十題（十八錢東京牛込藥地町二二共社）

▲俳界（六月號）大自然に發せよ（白田亞浪）俳句の詩美と創作、黑田忠次郎、俳人としての蕪子（長谷川零餘子）其他（二十五錢東京藥地二〇二二共社）

▲常盤木（六月號）（十五錢東京小石川區鬼青柳町廿九共社）

▲實生活（六月號）（十錢東京芝伊皿子町四二共社）

▲海紅（六月號）（二十四錢東京下谷上根岸八二共社）

▲活動寫眞雜誌（七月號）依例三都代表的活動寫眞館の映畫解說は二十頁の口繪と對照して活動好の血を湧かすに足る尚三百圓懸賞脚本を募集す（二十五錢東京赤坂一ツ木共社）

▲日盤（三週年記念號）糖業政策、大阪商人氣質、植民政策の根本義、絡み合ふ色覧と淫婦其他藝術に關するもの三四（十錢東京麻布一本松八共社）

▲家禽界（六月入梅育雛號）腐敗を防ぐ飼料調理法、美味な食用鶏の飼養、入梅育雛安全法其他十數悉く養禽家の好資料（二十一錢東京神田仲猿樂町曉曉社）

▲科學世界（六月衣食住號）論說、理化、衞生、數學、博物、天文、地文、史傳、航空、常識、鄕土の各部分に分ち本誌特別の記事を收む（二十五錢東京本鄕湯島共社）

▲實業新報（六月號）依例專門家の實際的記事を滿載し雜錄、世說細論、要表、科學界新智の各欄亦見るべきもの多し（十八錢東京日本橋區屋町一四共社）

▲新國民（六月號）（十五錢東京神田駿河臺袋町一六大日本國民中學會）

▲人格と幸福（六月號）（六錢京都祇園南路明治修養會）

▲鑛業時報（五月號）（十錢大阪東區上本町一の七共社）

●●●●●

▲朝鮮興農園（六年秋の部）（十錢忠清南道禮山郡島致院共社）

▲頃日の大問題に就て肝腎の大が狂犬なるや否やといふとも醫者によつて異ふとがありまして現に二三日前にも本町二丁目の假塚といふ家では同家の獵犬が少々病氣のやうだといふので或る町の某獸醫に診せますと狂犬だからすぐ毒殺せよと云ひました、然し只今主人も留守中故他の醫者にも診せて殺しませうといひますと斷じて今殺せとのはなし、それで愈よ毒殺しますと其處へ警官と御役所の獸醫さんが出張されてこれは決して狂犬病に非ずとの御せ、犬は手當した甲斐もなく死にましたこれと同一の事件は先日宍戸男の犬にもあつた相ですが時々柄々大家の御注意まで（一獵夫生）▲貴社の觀火大會は一日千秋の思ひで待てゐます一昨年年々大同の流れにお催しの際は實に綺麗でした子供迄にも見せたかつた程です今度再びそれが貴社の力に依つて見る事を得るかと思へば喜ばしい水面兩岸一帶の燈火！天界の星も赤美しく（あゝ待遠い生）▲辷時赤帽の旅客に對する態度の甚だ横暴なる實に憤慨に堪へない去る九日夜行釜山列車の混雜中に辛うじて座席を得たる一鮮婦人は折角見得たる座席より突飛ばされ泥水上りの所謂奧樣に奪はれたり實に側に居る者をして憤らしめたり（一旅客）

廣告

本邦人の皮膚毛髮に適する化粧用水石鹸

◎ミツワ水石鹸

MITSUWA LIQUID SOAP.

The very best materials of exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful whilst it does not injure even the tenderest of skins.

Price 35 Sen and 50 Sen.

ミツワ石鹸が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衞生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹸も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹸には刺戟甚だしく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、此◎ミツワ水石鹸は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、皮脂の分泌夥多に而も皮膚粗糙なる本邦人の化粧用水石鹸として、實に理想的の薬品にして生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

定價　金參拾五錢　大壜　金五拾錢　內地外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる家庭用肌着香水オードフラール

◎ミツワ花の雫

EAU DE FLEURS

made from the best material by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion to your underwears, towels, handkerchiefs, sheets or water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing.

Price 45 Sen and 70 sen.

優秀なる原料と馥郁たる芳香と熟練なる技術とを以て精製されたる家庭用香水◎ミツワ花の露は、温雅なる芳香を有し、清涼爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり、從來の家庭用香水には徒に強烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の露は人を魅する如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盤浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。

定價　金四拾五錢　大壜　金七拾錢　內地外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

毛髮の榮養料頭髮用衞生香水ヘーヤ、ローション

◎ミツワ月の雫

MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.

Price Sen 50 and 80 Sen.

從來の頭髮用香水には、毛髮を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫は温雅の芳香を有し、毛髮の營養發育に効ある理想的の頭髮用香水なり、優良なる品質を具備し、毛髮の衞生に適するミツワ石鹸を以て、毛髮を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衞生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の頭髮用香水なり。

定價　金五拾錢　大壜　金八拾錢　內地外は關稅運賃を加ふ

（現品縮寫圖）

ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス

發賣元　◎

東京市日本橋區橘町四丁目　藥劑、化粧品、石鹸、香水、雜品、小間物問屋

登錄商號　丸見屋商店

電信略號○ミヤ　振替貯金口座東京七一〇番　電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇二

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平町　振替三五〇番　京城日報社代理部

專賣特許出願中　光澤壁塗料　右壁料を以て朝鮮銀行內部塗替致候　御序での節御一覧を乞ふ

製造發賣　龍山漢江通十三番地（小學校前）　浦田商會　電話四四六番

京城旭町二丁目五十一番地　取次所　佐藤熊太郎　電話四七九番

京城長谷川町八十四番地　滿鮮取次所　工業社代理部　電話二四六七番

京城本町三丁目卅八番地　取次所　黑宮精逸　電話三二三番

最新刊

實驗化學工業（前編）　一、五〇〇
佛教人生觀　一、八〇
戰後の事業と會計　一、五〇
現代の藝術觀　一、三〇
波上の日本　一、〇〇
名文範　九〇
三角方程式　一、五〇
千載一遇　七五
大河平隆光著　一、七〇

支那の眞相

新譯韓非子　九〇
文學論　夏目漱石　一、七〇
繁昌する商店　八〇
三人の弟子　九〇
入學試驗比較問題解釋　九〇
あの山越し此山越し　六五
愛の勝利朝鮮公文解釋　四〇
新式圖案寶典　六〇
日本讃辭諸體かな帳　四〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目　振替京城二五七三番

大邱浦項間自動車時間

大邱浦項間　大塚農場自動車所　大邱出張部　電話二一七番

共同汽船仁川出帆

共同丸　六月十五日午後人港　十七日前十時出帆　芝罘、大連行

阿波共同汽船株式會社　仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）　野口商會

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　六月二十日後五時出帆
立神丸　七月一日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　立和丸　六月三十日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　立神丸　六月十九日後四時出帆
第三琴平丸　月日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　月日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）

釜山港埠立新町　本船取扱店　大池回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽（天津）牛莊行　相撲丸　六月廿四日正午出帆
高砂丸　七月五日正午出帆
三河丸　六月十三日後十一時出帆

仁川海岸町十一丁目　回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大有丸　六月十七日後四時出帆
秀吉丸　六月十九日後四時出帆
神代丸　六月廿四日後四時出帆
下關、高松直行　君が代丸　六月日後四時出帆

仁川海岸通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

門司、神戶、大阪行
舞鶴丸　六月十三日
南浦丸　六月十七日
鎮南浦丸　六月廿六日　後二時出帆
木浦、釜山、嚴原、鷲の浦、長崎行
安東丸　六月廿五日後二時出帆
安東丸　七月十三日後二時出帆
橫濱行
濟州丸　六月十八日後二時出帆
濟州丸　六月廿四日後二時出帆
鎮南浦行
汕頭丸　六月十四日正午出帆
濟州丸　六月十五日正午出帆
鎮南浦、大連行
安東丸　六月二十日後二時出帆
安東丸　七月八日後二時出帆
大連直航
濟州丸　六月日正午出帆
濟州丸　六月日正午出帆
西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）
安平丸　六月十六日後十二時出
清津行（元山出帆）
須磨丸　六月廿四日後十二時出
上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
湖北丸　六月二十日前六時出帆
大智丸　六月廿七日後四時出帆

○外航路所隔航路（遠洋航路を除く）間連絡船の時日は百分引を以て連絡切符發賣仕候

御注意　朝鮮鐵道及南滿洲鐵道各驛と本社船舶との連絡切符發賣仕候

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開城旅館　電話二六一番

朝鮮郵船出帆

江原丸　六月廿二日
京畿丸　六月廿三日
黃海丸　六月十八日
咸鏡丸　六月廿八日　釜山發
（元山より釜山各港寄港）
穩城丸　六月十八日
昌平丸　六月
鏡城丸　六月十四日　元山發
（元山より各港經由雄基行）
昌平丸　六月日　元山發
盛德丸　六月十五日　釜山發
江陵丸　毎日　釜山發
裵陽丸　毎日　浦項發
三浦丸　六月日　釜山發
濟州丸　◎慶興丸　毎日　釜山發
紀綾丸　六月日　釜山發
平壤丸　六月十五日　元山發
順天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　六月十六日　木浦發
慶興丸　六月日　木浦發
公州丸　六月十七日　木浦發
麗水丸　六月十八日　仁川發
晉州丸　六月十八日　仁川發
宗仁丸　六月十五日　仁川發
全州丸　毎日午前　仁川發
南陽丸

本社　電話長一九五一番二三二一番
京城南大門驛前　松原運送店（電話長一七〇番）